

平成 2 4 年 度

事業報告書

(平成 2 4 年 4 月 1 日～平成 2 5 年 3 月 3 1 日)



公益財団法人

神奈川産業振興センター

■	事業内容	
I	最適な支援への誘導	1
1	相 談	1
2	情報提供	3
3	調査・分析	6
II	企業ニーズに対応した支援事業の展開	7
1	経営安定・経営革新支援	7
2	創業促進・事業拡大支援	9
3	販路開拓支援	18
4	資金支援	27
5	国際化支援	33
6	人材育成支援	35
III	支援機関との連携・協働の推進	41
1	地域連携	41
2	全国連携	42
IV	KIP の活動を支える事業の展開	44
1	センタービル運営・管理	44
2	万葉荘運営・管理	46
3	工業見本市等イベント開催事業	47
4	円滑な組織運営	48
5	職員の能力開発	49
6	会員組織運営	50
V	その他の事業	56
1	企業再生支援	56
2	緊急雇用創出事業	57
3	欧州地域経済交流促進事業	58
4	地域需要創造型等起業・創業促進事業	58
■	理事会・評議員会	
1	理事会開催状況	59
2	評議員会開催状況	61
3	監事監査実施状況	62
4	役 員	63
5	評議員	63

■ 事業内容

I 最適な支援への誘導

1 相 談（経営総合相談室）

県内中小企業者等の様々な経営課題等の解決を図るため、K I P職員及び専門相談員による相談（経営、金融、国際化、技術、創業、取引・販路、法律、知財、I T）を行った。

(1) ワンストップ総合相談の実施

ア 相談件数（センター全体）

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B	A/B
	件数(件)	構成比	件数(件)	構成比		
経 営 全 般	515	9.5%	496	8.8%	19	103.8%
マーケティング	166	3.1%	213	3.8%	△47	77.9%
資 金	609	11.3%	775	13.7%	△166	78.6%
法 律	466	8.6%	458	8.1%	8	101.7%
労 務	47	0.9%	57	1.0%	△10	82.5%
税 務	25	0.5%	51	0.9%	△26	49.0%
技 術	134	2.5%	93	1.6%	41	144.1%
ビジネスプラン	270	5.0%	362	6.4%	△92	74.6%
I T	35	0.6%	29	0.5%	6	120.7%
取 引	2,448	45.4%	2,529	44.8%	△81	96.8%
事 業 提 携	5	0.1%	9	0.2%	△4	55.6%
会 社 設 立	20	0.4%	29	0.5%	△9	69.0%
省 エ ネ	3	0.1%	2	0.1%	1	150.0%
I S O	1	0.1%	10	0.2%	△9	10.0%
特 許	5	0.1%	16	0.3%	△11	31.3%
デ ザ イ ン	223	4.1%	170	3.0%	53	131.2%
国 際 化	233	4.3%	116	2.1%	117	200.9%
そ の 他	188	3.4%	228	4.0%	△40	82.5%
合 計	5,393	100.0%	5,643	100.0%	△250	95.6%

イ 支援機関との連携による相談

(ア) 県産業技術センターとの連携

中小企業者等の技術面と経営面に関連する課題について一体的に相談に応じるため、KIPと県産業技術センターそれぞれに「経営・技術総合相談センター」を設置し、相談に対応した。

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
経 営 相 談	30件	31件	△1	96.8%
取 引 相 談	217件	265件	△48	81.9%
合 計	247件	296件	△49	83.4%

(イ) 金融機関等との連携

金融機関等と連携して窓口相談を実施した。

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
金融機関等からの紹介件数	7件	5件	2件	140.0%
センターからの紹介件数	5件	11件	△6件	45.5%

※連携した金融機関等

神奈川県銀行、静岡中央銀行、八千代銀行、湘南信用金庫、川崎信用金庫及び神奈川県信用保証協会

ウ 下請かけこみ寺の開設

下請取引適正化のために、「下請かけこみ寺」を開設し、下請取引に関する苦情・紛争相談に対応するとともに、必要に応じて弁護士により、その解決や未然防止のためのアドバイスを実施した。

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
相談件数	271件(37件)	162件(32件)	109件	167.3%

※（ ）内の件数は、弁護士に専門的なアドバイスを受けたもの。

2 情報提供（経営企画室、事業化支援課）

(1) 中小企業の経営に関連する情報の発信（経営企画室）

県内中小企業者等に、KIPの支援事業に関する情報や中小企業の経営に影響を与える経済情報などを提供するため、情報誌やホームページなどを活用し、情報提供した。

ア 情報誌「中小企業サポートかながわ」の発行

KIPの実施事業、県・国等の商工労働施策・支援事業、中小企業者等の関心が高い情報等を“読みやすく・わかりやすく”提供することにより、中小企業者等の適時適切な経営判断に資するとともに、KIP等の支援事業の利用促進を図った。

なお、掲載内容は、ホームページにも掲載した。

- ・発行回数：年12回（原則毎月10日発行）
- ・発行部数：6,000部／月

イ インターネットによる情報受発信

(7) ホームページの運営

KIPに関する情報をより多くの中小企業者等に提供することにより、支援サービスの活用を促進するため、ホームページを活用して“わかりやすく”“利用者の役に立つ”最新の情報を発信した。

また、12月にKIPのfacebookを開設し、2月にはホームページをリニューアルした。

[クリック数（ページビュー）]

25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
381,036件	363,741件	17,295件	104.8%

(4) メールマガジンの配信

KIPに関する情報や行政、支援機関等の情報を適時適切に提供するため、Eメールによるメールマガジン等を配信した。

a KIPメールマガジン（センターメールニュース）

- ・発行回数：年12回（原則毎月1日配信）
- ・配信先：受信希望者（登録者）
- ・登録数：2,044件（平成25年3月末現在）

b ビジネス／イベント情報 from KIP

- ・発行回数：随時
- ・配信先：KIPのイベント・セミナー参加者等
- ・登録数：17,636件（平成25年3月末現在）

[配信回数]

25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
30回	32回	△2回	93.8%

(2) K-POTによる情報発信（経営企画室）

県内を中心とする中小企業支援機関等が実施する支援事業の活用を促進するため、それらの機関等が発信する最新情報を集約し、一元的に提供するポータルサイトK-POT（かながわ中小企業ビジネス支援サイト）を運営した。

[クリック数（ページビュー）]

25年3月末（A）	24年3月末（B）	A-B	A/B
126,255件	128,788件	△2,533件	98.0%

(3) 説明会等による情報発信・情報交換（事業化支援課）

ア 中小企業技術革新（SBIR）制度の活用促進

中小企業に国の研究開発補助金等（SBIR制度）に関する情報を提供するため、民間専門機関に委託し、情報提供を行うとともに、助成金の申請に関する助言を行った。

委託先 株式会社ブレイブコンサルティング

契約期間 6月1日～3月15日

契約金額 600,000円

業務委託に係る審査会開催日 4月23日

[公的補助金活用セミナー兼個別相談会]

開催月日	開催場所	内 容	参加者数
第1回 7月30日	センタービル 6階大研修室	1. SBIR制度概要説明 2. 補助金の概要説明 3. 補助金の活用事例 4. 申請書作成のポイント 5. 個別相談会（予約制）	20名
第2回 10月5日	センタービル 6階大研修室	1. SBIR制度概要説明 2. 補助金の概要説明 3. 補助金の活用事例 4. 申請書作成のポイント 5. 個別相談会（予約制）	19名
第3回 12月3日	センタービル 6階大研修室	1. SBIR制度概要説明 2. 補助金の概要説明 3. 補助金の活用事例 4. 申請書作成のポイント 5. 個別相談会（予約制）	16名

[無料相談会]

開催月日	開催場所	内 容	参加者数
第1回 8月8日	事業化支援課内	1. 実証試験に係る補助金の探索	1名
第2回 8月22日	事業化支援課内	1. 研究開発に関する補助金の探索 2. 経営革新計画作成 3. 合金の研究開発費助成、産学官連携	3名
第3回 10月26日	事業化支援課内	1. 設備資金調達、商品開発に関する補助金の探索 2. 開発費補助金の探索	2名
第4回 12月26日	事業化支援課内	1. 中小ものづくり高度化法に基づく認定に係る相談 2. 新規事業の製造販売実施にあたり、該当する補助金の探索	2名
第5回 1月15日	事業化支援課内	1. 出資に関する相談及び、販売促進用途補助金の探索 2. 中小ものづくり高度化法に基づく認定計画の策定に係る相談	2名
第6回 2月25日	事業化支援課内	1. 研究開発費及び販売促進用途補助金の探索 2. 新サービス、製品開発に係る補助金の探索	2名

イ 地域交流サロンの開催

企業間・産学公連携による県内の地域社会からの新規創業・新事業進出の促進を図ることを目的に、「交流サロン」事業を民間専門機関に委託して実施した。

委 託 先 神奈川県異業種グループ連絡会議

契約期間 6月1日～3月15日

契約金額 300,000円

業務委託に係る審査会開催日 4月23日

セミナー

開催月日	開催場所	内 容	参加者数
11月13日	センタービル 14階多目的ホール	大都市災害と河川・冠水警報システム セミナー	43名
1月21日	神奈川新聞社 横須賀支社	6次産業化活動事例と課題	21名
2月6日	パシフィコ横浜 セミナー会場	業種、業態転換、新分野を目指す経営 戦略のための異業種交流の活用法	17名
3月14日	戸塚地区センター	戸塚区役所跡地活用施設と県産木材の 効果について	28名

3 調査・分析（経営企画室）

(1) 中小企業景気動向調査

県内中小企業の景気動向等を把握するための「中小企業景気動向調査」を実施し、調査結果を効果的・効率的な中小企業支援の実施の参考とした。また、情報誌等を通じて調査結果を公表することにより、中小企業等の経営判断の参考としていただいた。

中小企業景気動向調査

- ・ 調査回数：年4回（四半期ごと）
- ・ 調査対象：製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食店、サービス業 計2,000社
- ・ 調査方法：郵送によるアンケート調査
- ・ 調査項目：現在及び今後の業況、売上、採算等

〔調査結果〕

区分	実施期間	回収数	回収率	業況 対前回調査比	売上DI 対前回調査比	採算DI 対前回調査比
第1回	4月26日 ～5月10日	936社	46.8%	△42.3 2.7ポイント上昇	△28.7 13.2ポイント上昇	△37.4 9.6ポイント上昇
第2回	7月25日 ～8月10日	922社	46.1%	△39.3 3.0ポイント上昇	△32.2 3.5ポイント低下	△40.1 2.7ポイント低下
第3回	10月25日 ～11月9日	854社	42.7%	△43.8 4.5ポイント低下	△30.7 1.5ポイント上昇	△39.2 0.9ポイント上昇
第4回	1月25日 ～2月8日	840社	42.0%	△44.4 0.6ポイント低下	△36.7 6.0ポイント低下	△36.2 3.0ポイント上昇

(2) 緊急中小企業経営実態調査

第3回中小企業景気動向調査時において、グローバル経済の進展や為替相場の円高などを背景とした、県内中小企業の海外ビジネス展開の現状並びに計画等を探るため、「海外ビジネスに関する臨時調査」を実施した。

- ・ 回答企業数：製造業・建設業（59社）、商業・サービス業（28社）
- ・ 主な調査結果：
 - ①現在の海外ビジネスについて
「行っている」7.8%、「行っていない」92.2%
 - ②計画中の海外ビジネスについて
「計画がある」3.9%、「計画が無い」96.1%
 - ③レンタルファクトリー・オフィス希望について
「希望する」3.0%、「希望しない」97.0%

Ⅱ 企業ニーズに対応した支援事業の展開

1 経営安定・経営革新支援（経営改善支援課）

(1) 経営革新支援

経営アドバイザーの派遣

中小企業者等が抱えている様々な経営課題の解決を支援するため、その課題解決に最適な専門家を経営アドバイザーとして派遣し、適切な診断・助言を行った。

〔派遣状況〕

区 分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
派遣企業数	65社	59社	6社	110.2%
派遣回数	479回	444回	35回	107.9%

〔内容別派遣状況〕

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B	A/B
	派遣回数	構成比	派遣回数	構成比		
経営全般	246回	51.4%	209回	47.1%	37回	117.7%
マーケティング	115回	24.0%	95回	21.4%	20回	121.1%
労 務	16回	3.3%	14回	3.2%	2回	114.3%
技 術	16回	3.3%	8回	1.8%	8回	200.0%
ビジネスプラン	0回	0%	64回	14.4%	△64回	0.0%
I T	38回	7.9%	17回	3.8%	21回	223.5%
I S O	32回	6.7%	24回	5.4%	8回	133.3%
特 許	8回	1.7%	0回	0%	8回	—
そ の 他	8回	1.7%	13回	2.9%	△5回	61.5%
合 計	479回	100.0%	444回	100.0%	35回	107.9%

※「経営全般」の主な内訳

業務システム等導入、経営計画策定、後継者育成、従業員教育、組織体制整備、生産性向上等

(2) 経営安定支援

地域密着型産業強化事業の実施

地域における商業機能の低下が懸念される一方、介護や子育てなどの生活支援サービスの充実や、様々な社会的課題に対して、ビジネスの手法で解決を図るソーシャルビジネスの拡大が期待されている。

このような状況を踏まえて、地域に密着した産業活動を強化するため、当該活動に取り組む事業者に対し、専門家を派遣し取組の支援を行った。

区分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
派遣企業数	8社	9社	△1社	88.9%
派遣回数	23回	27回	△4回	85.2%

[支援内容]

申込月	事業者の概要		支援テーマ
	組織形態	事業内容	
4月	個人事業主	パンの製造小売	商品戦略やプロモーション戦略の実施等に関するアドバイス
6月	組合	食品卸小売組合	食品卸小売組合としての朝市の開催に関するアドバイス
6月	組合	商店街組織としての共同イベントの開催など	商店街組織としての共同イベントの開催に関するアドバイス
6月	任意団体 (商店街活性化事業実行委員会)	コミュニティカフェの運営	集客力の向上や運営組織体制の整備に関するアドバイス
6月	NPO法人	地域高齢者への憩いの場の提供	採算性を重視した円滑な店舗運営に関するアドバイス
8月	個人事業主	地域高齢者等を対象としたコミュニティスペースの運営	対象顧客へのアプローチ方法や効果的な運営方法に関するアドバイス
12月	NPO法人	子育てママの憩いの場の提供および障がい児通所支援多機能施設サービスの提供	対象顧客へのアプローチ方法や効果的なチラシ作成等に関するアドバイス
2月	個人事業主	幼児向け情操教育サービスの提供	サービス内容の認知度を高めるための、効果的なチラシ作成やHP及びソーシャルメディアによるメディアミックスの構築

2 創業促進・事業拡大支援（事業化支援課）

(1) イノベーション促進支援

新規創業や第二創業（新分野進出・事業転換など）に挑戦する個人・企業等のビジネスを着実に事業化に結びつけるため、ビジネスプランを評価し、その内容や事業化の段階に応じた最適な支援を行った。

ア 創業・新分野進出相談

業種・業態を問わず、「創業」、「新分野進出」に関する相談を受け、内容を確認し適切に対応した。

相談員 原則として KIP 職員

対応 ビジネスプランがない場合＝事業目的・事業内容の確認、課題整理など
 ビジネスプランがある場合＝内容の確認、簡易評価、改善指導など

[相談企業数]

25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
306社	139社	167社	220.1%

イ ビジネスプラン評価の実施

支援対象事業の内容に即した外部専門家（事業化促進アドバイザー）を配置し、支援対象企業と合意した支援プランを推進した。また、A評価以上のうち、特に事業可能性が高いプランについては、研究開発調査やマーケティング調査を委託（委託費100万円以内）した。

支援企業：4社

企業名	支援プラン内容
株式会社A	研究開発用機器の海外販売展開
B株式会社	自社ブランドの確立
C有限会社	新たな加工材による新分野進出
D株式会社	新分野進出

[ビジネスプラン評価委員会開催状況]

開催日	内容
6月19日	本年度の方針及び事業実施体制について (取組事業等プレゼン会を兼ねる)
7月17日	支援プラン承認について
11月20日	支援進捗状況報告
12月18日	支援進捗状況報告

ウ 取組事業等プレゼン会の開催

「新しい分野の事業に取り組んでいるがうまくいかない方」、「事業転換を進めているが満足いく成果が得られていない方」など、「創業」、「新分野進出」に挑戦しているものの、なかなか思い通りの進捗が見られず、悩まれている経営者を対象に、それぞれの事業の課題などをビジネス評価委員会で発表していただき、委員が第三者の目から厳しい指摘や適切なアドバイスを行う「取組事業等プレゼン会」を開催した。

- 6月19日 参加企業：①E株式会社
事業名：自社製品の販売について
参加企業：②F株式会社
事業名：組み込みソフトウェア開発
- 9月27日 参加企業：株式会社G
事業名：自社製品の製造・販売について

エ フォローアップ

平成13年度から平成22年度までのビジネス可能性評価認定企業・コンソーシアム採択企業のうち、継続的に支援を行うことで事業化の可能性が高いと判断した企業に対するフォローアップを行った。

フォローアップ件数：40件

オ ビジネスプラン再構築支援

ビジネスプランの再構築が必要な企業を支援するため、内容に即した外部専門家（事業化促進アドバイザー）を配置し、企業のプランを再構築した。

支援企業：16社

企業名	支援内容
H株式会社	新中期経営計画策定にあたっての手法等
I株式会社	自社製品の製造販売に係わる操作マニュアル、安全管理について
J株式会社	受注確保のための営業戦略について
K株式会社	販売計画の立案等
株式会社L	保有技術・ノウハウの整理手法及び他社との効果的な連携方法について
M株式会社	市場調査方法及び販路構築に関して
N株式会社	販売方法の構築について
株式会社O	販売計画の再構築について
株式会社P	販売計画の再構築について
株式会社Q	販売計画の見直し
株式会社R	事業計画作成に関する課題抽出
株式会社S	中国事情と取引について
T株式会社	中国事情と取引について

株式会社U	生産工場の現場改善プロジェクトチームの立上げ及び推進について
株式会社V	中国市場における注意すべきポイントについて
株式会社W	医療分野における事業展開について

カ 新事業展開支援セミナーの開催

県内経済の発展と活性化の動力源となるベンチャー企業や新たな事業分野への展開を図ろうとしている企業等の参考とするため、オンリーワンを目指し挑戦を続け、今後事業の拡大が期待できる企業の取り組み事例などの発表会を県内支援機関と連携し、開催した。

開催日	内容	参加者数
2月8日	基調講演 「上場への道のり～若き経営者が語る起業ストーリー～」 株式会社 ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏 事例発表 「オンリーワンを目指し、挑戦を続ける県内企業の事例発表」 ・株式会社 共立 「下請から自社ブランド製品を持つ環境系メーカーへの脱却」 発表者：株式会社共立 代表取締役 上野 賢美 氏 ・株式会社ジェイ・エム・シー 「既存技術を活用！医療、航空宇宙分野へ進出」 発表者：株式会社ジェイ・エム・シー 代表取締役 渡邊 大知 氏 ・スペースリンク株式会社 「宇宙技術を民生分野で活用し事業展開」 発表者：スペースリンク 株式会社 専務取締役 阿部 城 氏	120名

(2) 創業支援

ア インキュベート入居企業の成長支援 [直営]

新規創業に挑戦している者の創業促進や創業後、あるいは新事業進出後5年以内のベンチャー企業等の経営基盤の確立を支援するため、神奈川中小企業センタービル内に小規模なオフィススペースを設け、適時、適切なアドバイスを行った。

(7) インキュベートルーム

区画数：14区画（23年度は15区画）

区分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用区画	7区画	5区画	2区画	140.0%
入居率	50.0%	33.3%	16.7%	150.2%
平均利用件数	5.6区画	5.7区画	△0.1区画	98.2%

[平成 24 年度インキュベートルーム入居企業概要]

入居企業：7 社

企業名	事業内容
株式会社作インダストリー	工業製品デザイン、海外とのコーディネート
株式会社バンダースナッチ	Web サイトによるマーケティング企画
OCEANEARTH 株式会社	高度ネットワーク・インフラシステムの設計・構築事業それに付随するネットワークやサーバー機器及びソフトウェアの販売
株式会社デジラボ・ジャパン	バイオ関連機器輸出入及び販売
InnoX TGM Japan 合同会社	アジア圏における不動産開発及び投資アレンジメント及びマーケティング業務(特にミャンマーにおける不動産開発・投資事業のスキーム構築から資金調達及びデベロッパー業務の受託)
大河原テクノス	メカトロニクス関連の技術開発、高速キャビテーション関連の製品開発・販売
株式会社日本イントリピッド・コントロール・システムズ	車載ネットワーク試験ツール(ソフトウェアとハードウェア機器) 輸入販売、また、それに伴う技術サポート、ツールの使用方法の教育活動等。

[コンサルティング状況]

区 分	25 年 3 月末 (A)	24 年 3 月末 (B)	A-B	A/B
コンサルティング件数	58 件	79 件	△21 件	73.4%

(イ) シェアードオフィス

区 分	25 年 3 月末 (A)	24 年 3 月末 (B)	A-B	A/B
入 居 者 数	0 名	0 名	0 名	-
利用者累計	1 名	1 名	0 名	100.0%

※定員 4 名

(ウ) ドリカムスペース

区画数：4 区画

区 分	25 年 3 月末 (A)	24 年 3 月末 (B)	A-B	A/B
利 用 区 画	3 区画	1 区画	2 区画	300.0%
入 居 率	75.0%	25.0%	50.0%	300.0%
利 用 者 累 計	12 名	7 名	5 名	171.4%

[平成 24 年度ドリカムスペース利用者概要]

利用者名	事業内容
西口 昇太郎	子供向けの科学教室、科学イベント事業
平川 基深	観光客向け衣装貸（新撰組、アニメキャラなど）撮影サービス
村岡 孝樹	伝統工芸品のリデザイン

(E) ドリカム・サロン

インキュベートルーム入居者の増加や入居企業相互の情報交流の促進を目的としたサロンを開催した。

[実施状況]

開催月日	開催場所	内 容	参加者数
第 1 回 9 月 28 日	センタービル 6 階大研修室	1. 「なんつッ亭 古谷一郎 大将のフロンティアスピリット・トーク座談会」 2. プチ・ビジネススクール「創業・開業のスーパーノウハウ」 3. 名刺交換交流会 4. 懇親会（希望者のみ）	32 名
第 2 回 11 月 28 日	センタービル 6 階大研修室	1. 「株式会社バイオクロマト 木下一真代表の双方向型講演会」 2. プチ・ビジネススクール「経営者の個性＝カラーで訴える企業、個人のイメージ戦略」 3. 名刺交換交流会 4. 懇親会（希望者のみ）	22 名
第 3 回 1 月 25 日	センタービル 6 階大研修室	1. 「有限会社ナムグローバル 岩尾 加寿美代表 講演会」 2. プチ・ビジネススクール「創業と企業経営の成功事例・失敗事例」 3. 第 1 回グループ討議交流会 4. 懇親会（希望者のみ）	16 名
第 4 回 3 月 20 日	センタービル 6 階大研修室	1. 「株式会社 Hayakawa 早川 聡代表 講演会」 2. プチ・ビジネススクール「創業時に必要な心得を学ぶ」 3. 第 2 回グループ討議交流会 4. 懇親会（希望者のみ）	26 名

イ インキュベート入居企業の成長支援〔委託〕

KIP がインキュベート機能を持つと認定した機関の、インキュベート施設に入居しているベンチャー企業の支援を強化するため、認定機関に対し助成を行った。

- ・ 委託先：KIP がインキュベート機能を有すると認定した県内支援機関等
- ・ 支援内容：認定した機関が入居企業に対して実施する、展示会への共同出展、入居企業者向け研修会や外部専門家による相談会など

〔委託先機関一覧〕

委託先機関名	施設名
NPO あつぎみらい21	厚木アクスト
公益財団法人川崎市産業振興財団	かわさき新産業創造センター
慶応義塾大学 SFC 研究所	慶應藤沢イノベーションビレッジ
株式会社ケイエスピー	かながわサイエンスパーク
株式会社さがみはら産業創造センター	さがみはら産業創造センター
財団法人湘南産業振興財団	湘南インキュベートルーム
公益財団法人横浜企業経営支援財団（金沢）	横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア
公益財団法人横浜企業経営支援財団（鶴見）	リーディングベンチャープラザ
国立大学法人横浜国立大学	横浜国立大学インキュベーション施設

ウ ビジネスインキュベーション（BI）連携強化・インキュベート力強化事業

- ・ 「かながわ IM フォーラム」の設置・運営
インキュベーションマネージャー（IM）の資質向上を図るため、先進事例調査やグループディスカッションなどを行った。
- ・ 「かながわ BI コンソーシアム」の設置・運営
神奈川県が認めたインキュベート施設が抱える共通の課題を解決するために、連携した活動を行った。
- ・ 平成 24 年度インキュベート機関合同会議開催（7 月 25 日）
かながわ BI コンソーシアムの設置について、各機関から了承を得た。

IM スキルアップ研修

開催月日	開催場所	内 容	参加者数
第 1 回 10 月 23 日	株式会社 さがみはら産業創造センター	1. 施設見学 2. 講演「地域とインキュベーション施設の関わり」 3. 事例発表「IM の支援による成功事例」 4. 意見交換等	10 機関 18 名
第 2 回 12 月 5 日	明治大学 地域産学連携研究センター	1. 施設見学 2. 講演「大学の研究シーズを活用した新製品開発」 3. ケーススタディ「支援成功への導き方」 4. 情報交換等	11 機関 19 名

第3回 2月20日	慶應藤沢 イノベーション セッション レッジ	1. 施設見学 2. 講演「大学のシーズを活用した事業化事例」 3. ケーススタディ「支援成功への導き方」 4. 情報交換等	10 機関 18 名
--------------	---------------------------------	---	---------------

(3) 事業拡大支援

ア ビジネスオーディションの開催

新規創業による開業率の改善や中小企業の新分野進出・事業転換の促進により県内産業の活性化を図るため、新たに取り組もうとする事業に関するプラン・アイデアを募集・評価し、優秀なものについて発表の機会、ビジネスパートナーとの出会いの場を提供した。

実施主体： かながわビジネスオーディション実行委員会※

※実行委員会構成団体

神奈川県、一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会、
公益財団法人起業家支援財団、株式会社ケイエスピー、
一般財団法人日本起業家協会、KIP

募集期間：6月1日～29日

応募数 137件（ビジネス部門56件、ドリーム部門81件）

開催日：2月7日（「テクニカルショウヨコハマ2013」と同時開催）

開催場所：パシフィコ横浜会議センター

<第1次審査>

通過件数：69件（ビジネス部門38件、ドリーム部門31件）

<第2次審査>

応募件数：62件（ビジネス部門35件、ドリーム部門27件）

通過件数：30件（ビジネス部門20件、ドリーム部門10件）

<第3次審査>

応募件数：28件（ビジネス部門19件、ドリーム部門9件）

訪問調査期間（第3次審査対象の28件） 10月29日～11月20日

プレゼン審査：11月26日～28日（午前中まで）センタービル6階大研修室で実施

入選者（オーディション当日発表者）決定：20件（ビジネス部門15件、

ドリーム部門5件）

<最終審査（オーディション当日）>

入選者20名（ビジネス部門15件、ドリーム部門5件）によるプレゼンテーションおよび「交流ゾーン」における入選者のパネルを展示した。

<フォローアップ訪問>

訪問期間：2月中旬～3月中旬

入選者20名に対し個々の課題や希望する支援を具体的に調査し、今後の入選プランの事業化に向けたフォローアップにつなげるために企業訪問を実施した。

[イベント]

開催日	開催場所	内 容	参加者数
5月30日	センタービル 14階多目的 ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・「かながわビジネスオーディションその魅力と活用方法」 講師：久保 均 氏（審査委員） ・「参加者からみたビジネスオーディション」 昨年度受賞企業3社によるパネルディスカッション 	47名
6月13日	センタービル 6階大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・「かながわビジネスオーディション2013 応募書類の作成及び見直し」 講師：KIP マネージャー 北原 一也 ・演習「参加者による応募書類（アブストラクト）の作成及び見直し」 ・個別相談会 	22名

[ブラッシュアップセミナー]

開催日	開催場所	内 容	参加者数
8月17日 (第1回)	センタービル 14階多目的 ホール	<p>テーマ：ビジネスプランをブラッシュアップする！～3年後も存続する会社を創る！～</p> <p>講 師：舟生 俊博氏（審査委員）</p>	55名
11月7日 (第2回)	センタービル 6階大研修室	<p>テーマ：プレゼンテーションスキルを磨く！魅力的なプレゼンテーションの極意</p> <p>講 師：久保田 達也氏（審査委員）</p>	24名
1月11日 (第3回)	センタービル 6階大研修室	<p>テーマ：パネル展示とプレゼンテーションのうまい見せ方、活かし方</p> <p>講 師：高久 広 氏 (事業化支援課マネージャー)</p>	22名

＜かながわビジネスオーディション2013 受賞者一覧＞

受賞名	会社名／代表者名	プラン・アイデア名
神奈川県知事賞	株式会社片野工業 片野 明夫	特許コロナ放電コア技術を活用した製品の開発と販売！
奨励賞 (ビジネス部門)	株式会社細胞応用技術研究所 木苗 貴秀	再生医療技術普及支援システムの開発と地域医療への提供
奨励賞 (ドリーム部門)	株式会社オオスミ 大角 武志	住環境調査サービス
KIP 賞	株式会社CQ-S ネット 齋藤 光正	レーダー技術を活用した安心見守りシステム
KNBC 賞	株式会社ライトレール 阿部 等	民間バス会社による本牧地区の路線バスの事業運営
起業家支援財団賞	日高 照一郎	ジメチルエーテル燃料を用いる固体酸化物型燃料電池によるEV用補助動力源の開発
KSP 賞／来場者賞	有限会社オフィス結アジア 高橋 宜盟	指伝話(ゆびでんわ) Feel Free は f f (フォルテシモ)
JEA 賞	株式会社 AbacusTechnologies 清水 咲里	歯医者さんのためのリレーションシップ・マーケティング
神奈川県中小企業診断協会賞	アースクリーン株式会社 佐藤 一芳	テレビ壁掛けの「ジャストップ工法」(壁面補強の特許工法)
日本技術士会神奈川県支部賞	横田 哲平	深夜でも楽しめる夢のホームシアター ”音で迷惑をかけません”
日本経営士会賞	フジクス株式会社 竹之内 豊	高齢者介護施設の新衛生管理 排水管の除菌 高圧洗浄「管洗浄プラス」
フロンティア技術賞	ゼロフォー株式会社 石田 浩太郎	国際製造規格に準拠したクラウド環境対応型、図面翻訳装置の開発
MINERVA 賞	川本重工株式会社横須賀工場 川本 忠博	産学連携による希土類(レアアース)を必要としない「超高強度マグネシウム合金」及び「超高強度純チタン」の製造開発と部品加工の事業化に中小企業が挑む
審査委員特別賞	株式会社カネヤス 小宮 育子	自宅供養できる、納骨タイプのペットのお墓「ペットカロート」
審査委員特別賞	一般社団法人健診弱者を救う会 志賀 大	みんなの健診

3 販路開拓支援（取引振興課、事業化支援課、事業課）

(1) 取引あっせん（取引振興課）

県内中小企業者等の安定的な取引の確保・取引の拡大を図るため、受・発注取引のあっせんを行った。

ア 個別マッチング

取引データベースに登録する受・発注企業からの「受注」または「発注」の申し出に基づき、新たな取引先を紹介した。

また、県下7地区の商工会議所等において、巡回あっせん相談のほか、県内支援機関の要請に基づき、適宜相談会に職員を派遣した。

区 分		25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
あっせん申出件数	発注申込	460件	493件	△33件	93.3%
	受注申込	374件	302件	72件	123.8%
あっせん紹介件数		1,211件	1,525件	△314件	79.4%
あっせん結果	成立	240件	269件	△29件	89.2%
	不成立	944件	1,200件	△256件	78.7%
成立当初受注金額		153,776千円	148,455千円	5,321千円	103.6%

[巡回あっせん相談]

区 分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
巡回あっせん相談	112件	120件	△8件	93.3%
特別巡回あっせん相談	1件	5件	△4件	20.0%

【相談実施場所】

- ・藤沢商工会議所 ・小田原箱根商工会議所
- ・横須賀三浦地域県政総合センター ・秦野商工会議所
- ・茅ヶ崎商工会議所 ・大和商工会議所 ・平塚市役所
- ・綾瀬市商工会 ・城山商工会 ・藤野商工会

イ 商談会

より多くの受注企業に商談の機会を提供するために、様々な形式の商談会を開催した。

(7) 受・発注商談会

発注企業と発注企業からの発注案件に対応可能な受注企業とが一堂に会し、個別商談による商談を行う「受・発注商談会」を地域の支援機関と連携して開催した。

- ・ 回数： 年4回
- ・ 開催場所： 横須賀、川崎、相模原（相思相愛型）、横浜の4地域

区分	開催日	会場	参加企業		商談件数	連携機関
第1回	7月4日	ヨコスカ・ベイサイド・ポケット	発注	43社	736件	横須賀市、横須賀市産業振興財団、横須賀商工会議所、三浦藤沢信用金庫、湘南信用金庫
			受注	171社		
第2回	9月5日	川崎市産業振興会館	発注	45社	817件	川崎市、川崎市産業振興財団、川崎市工業団体連合会、川崎商工会議所、川崎信用金庫、横浜市、横浜市工業会連合会
			受注	236社		
第3回	11月27日	グリーンホール相模大野	発注	32社	342件	相模原市、相模原市産業振興財団、相模原商工会議所、城山商工会、津久井商工会、相模湖商工会、藤野商工会、八千代銀行
			受注	125社		
第4回	2月6日	パシフィコ横浜アネックスホール	発注	72社	1,277件	横浜市、横浜市工業会連合会、横浜信用金庫、川崎市、川崎市産業振興財団
			受注	277社		

※相思相愛型とは、あらかじめ発注企業から商談希望の企業を指名してもらい、同時に受注企業からも商談希望先を聞き、双方のニーズをマッチさせて行う完全マッチング方式によるもの。相模原地区で実施。

セミナーの実施

受・発注商談会に参加する受注企業担当者を対象に、商談成約率を高めるため、商談会の開催直前に営業手法に関するセミナーを開催した。

開催日	内容	対象商談会	参加者数
6月27日	営業力強化特別セミナー	横須賀会場	42名
1月29日	営業力強化特別セミナー	横浜会場	40名

(4) オーダーメイド型商談会

企業訪問等により大手メーカーの新規外注ニーズを発掘し、その案件（オーダー）に対応できる受注企業との個別商談会を開催した。

開催日	大手メーカー	会場	参加者数
12月4日	日本パワーブレーキ株式会社	日本パワーブレーキ株式会社 事業所内	6社

(ウ) 神奈川県新技術・新工法展示商談会

県外大手メーカーに働きかけ、その開発拠点等で、大手メーカー及び関連企業の技術者等を対象に、県内中小企業者の優れた技術等を展示・紹介するための、提案型商談会を開催した。

〔実行委員会等の開催概要〕

区 分	内 容
5月24日	第1回実行委員会開催
11月22日	第2回実行委員会開催
1月30日	量産・試作加工技術展 出展者説明会
2月14日・15日	神奈川県新技術・新工法展示商談会 in TOYOTA
3月26日	第3回実行委員会開催

〔展示商談会の開催概要〕

開催年月日	平成24年2月14日(木)～15日(金)
開催場所	トヨタ自動車株式会社サプライヤーズセンター (愛知県豊田市)
開催企業名	トヨタ自動車株式会社
出展者数	46社
来場者数	1,035名
参加要件	(1) 神奈川県内に本社又は事業拠点のある企業で、中小企業基本法第2条の範囲の企業（製造業：従業員300人以下又は資本金3億円以下） (2) 自動車部品の製作につながる企業 (3) 原価低減、軽量化、商品力向上、につながる国内初・業界初等の新技術や新工法を提案できる企業 (4) 樹脂やゴム又は電子部品の分野などでの提案ができる企業
商談件数	6,427件（名刺交換等を含む）

(イ) 業種別商談会

商談機会の少ない加工業種（表面処理、電気組立、樹脂加工等）に商談の場を提供するため、新規の販路開拓の場を提供する個別商談会を開催した。

開 催 日	会 場	参加企業		商談件数
3月8日	センタービル 14階多目的ホール	発注	7社	29件
		受注	27社	

(オ) 九都県市合同商談会

首都圏産業の国際競争力強化を図るため、九都県市（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市）が連携して、新たなビジネスチャンスの創出を支援する商談会を実施した。

〔実行委員会の開催〕

区 分	内 容
7月11日	第1回実行委員会
3月25日	第2回実行委員会

〔商談会開催概要〕

開催日	会場	参加企業数		商談件数
		発注	受注	
1月31日	さいたまスーパーアリーナ展示ホール	64社（内県内9社）	200社（内県内45社）	936件

ウ 発注開拓企業訪問

発注案件の獲得、商談会への参加要請、外注方針等の情報収集、未登録企業への登録勧奨等を行うため、「KIP職員」及び「発注開拓専門員（大手企業の資材購買実務経験者等）」が大手メーカーの発注部門や研究開発部門を訪問等した。

(7) KIP職員

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
訪問等企業数	675社	706社	△31社	95.6%
発注案件数	67件	74件	△7件	90.5%

(イ) 発注開拓専門員：8名

区 分		25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
訪問	発注企業数	900社	1,062社	△162社	84.7%
	受注企業数	54社	73社	△19社	74.0%
登録	発注企業数	38社	14社	24社	271.4%
	受注企業数	0社	0社	0社	—
発注案件数		271件	215件	56件	126.0%
受注案件数		0件	50件	△50件	0.0%
あっせん紹介数		347件	249件	98件	139.4%
成 立 件 数		5件	4件	1件	125.0%
成 約 金 額		1,805千円	500千円	1,305千円	361.0%
商談会参加企業		35社	61社	△26社	57.4%

エ 登録企業の実態調査及びデータベースの整備・運営

取引あっせんを効率的・効果的に実施するために設けた受・発注企業データベースの登録内容を最新のものに更新するために、登録企業に実態調査等を行った。

なお、3年以上データ更新がない企業については、現地調査を行った。

(7) 登録企業データベース更新調査

受・発注企業データベースに登録された受注企業に調査票を発送し、企業情報（所在地、保有設備等）を更新した。

区 分	調査時期	調査対象	内 容
登録企業データベース更新調査	8月20日～9月14日	登録受注企業 3,607社	・回収企業 929社 ・回収率 25.8%

(現地調査)

区 分	25年3月末
訪問等企業数	563社

(4) 発注企業実態調査

発注開拓企業訪問や受注企業への取引あっせん等に活用するため、県内発注企業の生産現況、生産見通し、新規発注計画の有無等についてアンケート調査を実施した。

- ・ 調査回数：年4回
- ・ 調査対象企業数：500社

区 分	調査時期	内 容
第1回	6月1日～18日	回収企業数 153社、回収率 30.6%
第2回	9月3日～14日	回収企業数 153社、回収率 30.6%
第3回	12月3日～14日	回収企業数 151社、回収率 30.2%
第4回	3月4日～15日	回収企業数 133社、回収率 26.6%

(ウ) 受注企業実態調査

取引あっせんに活用するため、県内受注企業の受注量の増減、受注単価の推移、経営課題等についてアンケート調査を実施した。

- ・ 調査回数：年1回

区 分	調査時期	調査対象	内 容
受注企業実態調査	8月20日～9月14日	登録県内受注企業 3,153社	・回収企業数 727社 ・回収率 23.1%

(2) ベンチャー企業等販路開拓事業（事業化支援課、取引振興課）

ア ベンチャー企業販路開拓ナビゲート事業（事業化支援課）

ベンチャー企業の開発した商品やサービス等の販路開拓を支援するため、経験豊かな企業OB等の販路ナビゲータにより、新たな販売先の紹介を行った。

<支援対象企業>

- ・ 要件： 県内に主たる事業所を有し、KIPが一定の評価を与えた企業、県内支援機関が推薦する企業等

- ・ 支援企業数：9社
- ・ 支援企業の選定：「支援企業選定オーディション」で、販路ナビゲータの支援効果が大きいと判断した企業の中から選定

<販路ナビゲータ>

- ・ 職務：支援対象企業と販売先企業とのマッチングの実施
- ・ 登録：営業経験豊富で幅広い人脈を持つ企業OB等を「販路ナビゲータ」として69名登録

継続支援企業:2社

製品・サービス名	マッチング件数
自動車部品	3件
空気清浄器	4件
合 計	7件

選定した新規支援企業:7社

製品・サービス名	マッチング件数
金属切粉破碎及び圧縮処理機	5件
防音材製品	5件
電子湿・温度計	4件
軟質材料の締結部品	4件
製造用原価見積ソフト	7件
電子書籍	5件
抗菌樹脂製品	6件
合 計	36件

イ 研究開発型企业との取引マッチングの実施（取引振興課）

研究開発型企业と大学等との取引を促進するため、コーディネーターとして委嘱した大手企業の研究開発実務経験者が大学等の求める高度な技術力を必要とする発注案件に対応できる受注企業を発掘し、それらの企業と大学等との受発注取引のマッチングを行った。

- ・ コーディネーター：1名
- ・ 実施時期：通年
- ・ 訪問企業数：80社（主に大手メーカーの研究開発部門）

区 分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
訪問等企業数	80社	126社	△46社	63.5%

(3) 企業・製品等PRのための展示会出展支援事業(事業化支援課、事業課、取引振興課)

ア ベンチャー企業の出展支援(事業化支援課)

KIPが支援するベンチャー企業等の製品・サービスを広く周知するため、支援企業が展示会に共同展示するスペースを確保するとともに、出展効果を高めるために専門家によるアドバイスをを行った。

- ・ 出展企業：一定水準以上のビジネスプランを有する企業等 11社
- ・ 対象展示会：テクニカルショウヨコハマ 2013 (平成 25 年 2 月 6～8 日)
- ・ 募集期間：8 月 6 日～9 月 28 日
- ・ 募集対象：当課実施事業(ビジネスオーディション、イノベーション促進支援事業、インキュベートルーム入居企業) 利用企業

出展企業:11社

企業名	製品・サービス名
エイシン電機株式会社	母乳解凍器等の開発・販売
株式会社テクノラボ	プラスチック部品の製造支援及び試作・少量生産
株式会社ゼロテクノス	エコ梱包バンド等の製造販売
株式会社FPEC	移動式消火システム及び防災シミュレーション
株式会社作インダストリー	工業製品デザイン、海外とのコーディネート
株式会社デジラボ・ジャパン	バイオ関連機器輸出入及び販売
オーシャンアース株式会社	高度ネットワーク・インフラシステムの設計・構築事業
株式会社アポロジャパン	偽造判別ワンタッチ判定スピークン
合資会社次世代技術	アグリサーバーを用いた広域農業情報クラウド
アップコン株式会社	低コスト、ローメンテナンスのウレタンで緑化
リ・バース株式会社	スマートフォン、タブレット PC 向けデータ消去装置

〔共同出展者セミナー〕

開催日	内容
10月22日	展示会出展に関するアドバイス等
11月27日	自社アピール・来場者の呼び込み手法等
2月15日	展示会出展後の対応

〔個別相談〕

開催日	内容
1月15、16日	個別企業の出展に対する相談
2月5、6、7日	現場での個別企業に対する助言・アドバイス等

イ 東京インターナショナルギフトショーへの出展支援(事業課)

小田原木製品等県産品や県内中小企業者等が扱う優良な輸入商品等を広くPRし、販路拡大を図るため、海外からのバイヤーも数多く訪れる日本最大のギフト商品見本市への出品を支援した。

(7) 東京インターナショナルギフトショー秋 2012

- ・ 会 期：9月5日～7日
- ・ 会 場：東京ビッグサイト

区 分	24 年度	23 年度
開 催 日	9月5日～7日	9月6日～9日
会 場	東京ビッグサイト	東京ビッグサイト
出展規模	輸入ブース 3社 3小間 小田原木製品ブース 10社 10小間	輸入ブース 3社 3小間 小田原木製品ブース 7社 7小間
来場者数	190,038人	192,802人
引合件数	輸入ブース 192件 小田原木製品ブース 1,316件	輸入ブース 256件 小田原木製品ブース 998件

(4) 東京インターナショナルギフトショー春 2013

- ・ 会 期：2月6日～8日
- ・ 会 場：東京ビッグサイト

区 分	24 年度	23 年度
開 催 日	2月6日～8日	2月8日～10日
会 場	東京ビッグサイト	東京ビッグサイト
出展規模	輸入ブース 3社 3小間 小田原木製品ブース 11社 14小間	輸入ブース 3社 3小間 小田原木製品ブース 13社 16小間
来場者数	196,105人	196,673人
引合件数	輸入ブース 162件 小田原木製品ブース 1,643件	輸入ブース 270件 小田原木製品ブース 1,857件

ウ 「かながわブース」による出展（神奈川県新技術・新工法展示商談会）（取引振興課）

県内中小企業者等の優れた技術等を展示・紹介するとともに、「かながわ発」のものづくりの先進性等をアピールするため、首都圏内で開催される大規模な専門展示会等に「かながわブース」を設けた。

開催日	内 容	参加者数
5月24日	第1回実行委員会開催	—
11月22日	第2回実行委員会開催	—
2月27日～ 3月1日	第4回量産・試作加工技術展「かながわブース」 共同出展	6社
3月26日	第3回実行委員会開催	—

エ ウッドワークフェア in 札幌（事業課）

(ア) ウッドワークフェア in 札幌（第1回）

区 分	24年度	23年度
開 催 日	10月16日～18日	10月18日～20日
会 場	札幌サンプラザ	札幌サンプラザ
開催規模	5社10小間	5社10小間
来場者数	41名	44名
引合件数	162件	137件

(イ) ウッドワークフェア in 札幌（第2回）

区 分	24年度	23年度
開 催 日	2月19日～21日	2月21日～23日
会 場	札幌サンプラザ	札幌サンプラザ
開催規模	6社12小間	6社12小間
来場者数	45名	53名
引合件数	188件	218件

4 資金支援（資金支援課）

(1) 設備導入等の効果的支援

小規模企業者等設備導入資金助成法に基づき、小規模企業者等の創業及び経営基盤の強化の促進に寄与することを目的として、金融機関からの資金調達力が脆弱な小規模企業者等が設備を導入する際に、設備投資を支援した。

また、設備貸与・設備資金貸付の申込企業等に対して、経営状況、設備投資の妥当性等を判断し、適切な指導を行う設備導入診断等を併せて行った。

<条件等>

対象企業	製造業・建設業・運輸業 従業員数 20人以下 小売業・卸売業・サービス業 従業員数 5人以下 ※従業員 21～50 人以下の企業で、次の条件（借入残高等）を満たす場合は対象（特認企業） ・ 金融機関からの借入残高が 420,000 千円以下 ・ 直近 3 カ年の経常利益平均額が 35,000 千円以下 ・ 大企業から資本金の 1/3 以上の出資を受けていないこと
対象設備	事業のために使用し付加価値の向上につながる、または創業のために必要と認められる設備（例）工作機械・建設機械・冷凍庫・IT 機器等

ア 設備貸与（割賦・リース）の実施

(7) 割賦事業

a 事業規模

- ・ 割 賦 実 績 額：142,800 千円
- ・ 割賦決定企業数：7 企業

b 割賦条件

- ・ 割賦限度額：1,000 千円～80,000 千円
- ・ 割 賦 期 間：7 年以内
- ・ 割 賦 利 率：年 2.00%

(4) リース事業

a 事業規模

- ・ 貸 付 実 績 額：79,685 千円
- ・ リース決定企業数：1 企業

b リース条件

- ・ 設 備 限 度 額：1,000 千円～ 80,000 千円
- ・ リ ー ス 期 間：3 年～7 年
- ・ 月 額 リ ー ス 料 率：3 年 ⇒ 2.965% 4 年 ⇒ 2.271% 5 年 ⇒ 1.845%
6 年 ⇒ 1.568% 7 年 ⇒ 1.370%

[申込状況]

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B		A/B	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (%)	金額 (%)
農林水産業	0	0	0	0	0	0	—	—
鉱 業	0	0	0	0	0	0	—	—
建設業	2	58,275	1	13,650	1	44,625	200.0	426.9
製造業	8	225,456	13	273,035	△5	△47,579	61.5	82.6
運輸業	0	0	0	0	0	0	—	—
卸売業	0	0	2	12,652	△2	△12,652	0.0	0.0
小売業	0	0	3	93,080	△3	△93,080	0.0	0.0
サービス業	5	158,367	2	12,300	3	146,067	250.0	1287.5
その他	0	0	0	0	—	—	—	—
合 計	15	442,098	21	404,717	△6	37,381	71.4	109.2

[決定状況]

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B		A/B	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (%)	金額 (%)
農林水産業	0	0	0	0	0	0	—	—
鉱 業	0	0	0	0	0	0	—	—
建設業	1	13,125	1	13,650	0	△525	100.0	96.2
製造業	3	77,005	7	159,099	△4	△82,094	42.9	48.4
運輸業	0	0	0	0	0	0	—	—
卸売業	0	0	2	12,395	△2	△12,395	0.0	0.0
小売業	0	0	0	0	0	0	—	—
サービス業	4	132,355	2	12,292	2	120,063	200.0	1076.8
その他	0	0	0	0	0	0	—	—
合 計	8	222,485	12	197,436	△4	25,049	66.7	112.7

割賦及びリースの内訳

[申込状況]

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B		A/B	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (%)	金額 (%)
割 賦	8	187,950	10	172,036	△2	15,914	80.0	109.3
リ ー ス	7	254,148	11	232,681	△4	21,467	63.6	109.2
合 計	15	442,098	21	404,717	△6	37,381	71.4	109.2

[決定状況]

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B		A/B	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (%)	金額 (%)
割 賦	7	142,800	7	77,358	0	65,442	100.0	184.6
リ ー ス	1	79,685	5	120,078	△4	△40,393	20.0	66.4
合 計	8	222,485	12	197,436	△4	25,049	66.7	112.7

イ 設備資金貸付の実行

(7) 設備資金貸付の実行

a 事業規模

- ・ 貸付決定額：731,800千円
- ・ 貸付決定企業数：66企業

b 貸付条件

- ・ 貸付限度額：500千円～40,000千円
- ・ 貸付率：対象設備の購入代金の2分の1以内^注

注 ①改正産業活力再生特別措置法の認定経営資源活用新事業計画、②農工商等連携促進法の認定農工商等連携事業計画並びに③企業立地促進法の承認企業立地計画及び承認事業高度化計画並びに④地域商店街活性化法の認定商店街活性化事業計画に基づいて設備を導入する場合は、所要資金の3分の2以内で、金額は60,000千円を限度。

- ・ 貸付期間：7年（公害防止施設は12年）
- ・ 貸付利息：無利子

[申込状況]

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B		A/B	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (%)	金額 (%)
農林水産業	0	0	0	0	0	0	—	—
鉱 業	0	0	1	6,300	△1	△6,300	0.0	0.0
建設業	17	268,800	10	144,000	7	124,800	170.0	186.7
製造業	48	588,000	28	308,900	20	279,100	171.4	190.4
運輸業	0	0	0	0	0	0	—	—
卸売業	0	0	2	14,200	△2	△14,200	0.0	0.0
小売業	3	11,900	1	36,100	2	△24,200	300.0	33.0
サービス業	8	81,000	6	113,700	2	△32,700	133.3	71.2
その他	0	0	1	10,000	△1	△10,000	0.0	0.0
合 計	76	949,700	49	633,200	27	316,500	155.1	150.0

〔決定状況〕

区 分	25年3月末 (A)		24年3月末 (B)		A-B		A/B	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (%)	金額 (%)
農林水産業	0	0	0	0	0	0	—	—
鉱 業	0	0	1	6,300	△1	△6,300	0.0	0.0
建設業	16	252,500	8	87,800	8	164,700	200.0	287.6
製造業	42	409,900	27	285,100	15	124,800	155.6	143.8
運輸業	0	0	0	0	0	0	—	—
卸売業	0	0	2	14,200	△2	△14,200	0.0	0.0
小売業	2	5,200	1	34,800	1	△29,600	200.0	14.9
サービス業	6	64,200	3	65,100	3	△900	200.0	98.6
その他	0	0	0	0	0	0	—	—
合 計	66	731,800	42	493,300	24	238,500	157.1	148.3

(2) 収納・管理等

ア 設備貸与等事業資金の収納・管理

貸付及び貸与資金の収納・管理

- ・ 資金繰り等に支障をきたした企業からの相談について助言、分納計画等について調査を行った。
- ・ 年間を通じて資金貸付先等の企業訪問を実施し、経営状況の把握とともに設備の現物確認等を行い債権の保全を図った。

区 分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
年度当初延滞額	543,560 千円	595,375 千円	△51,815 千円	91.3%
延滞発生額	85,838 千円	70,953 千円	14,885 千円	121.0%
延滞回収額	58,038 千円	59,563 千円	△1,525 千円	97.4%
償 却 額	29,357 千円	63,205 千円	△33,848 千円	46.4%
月 末 延 滞 額	542,003 千円	543,560 千円	△1,557 千円	99.7%

イ 設備導入診断

- ・ 設備導入診断
- ・ 事後助言

区 分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
設備導入診断及び事後助言	94 件	85 件	9 件	110.6%

ウ 「かながわキャピタル事業」に係る代位弁済案件の債権管理

かながわキャピタル事業の代弁先企業の債権管理:3社

〔債権状況(元金)〕

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
求償権回収額	3,486千円	3,486千円	0千円	100%
償却額	—	—	—	—
月末求償権残高	66,603千円	70,089千円	△3,486千円	95.0%

(3) ベンチャー企業の資金調達支援

- ・ベンチャーファンドからの投資を求めるベンチャー企業について、事業可能性等を調査し、適当と認める場合に、かながわベンチャー応援ファンドに紹介した。
- ・経営基盤が弱い企業については、経営面、金融面等におけるアドバイスをを行った。

〔ファンド関連相談件数〕

区分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A/B
ファンド関連相談	3件	3件	100.0%

(4) 県制度融資の促進、資金調達・管理

ア 民間金融機関からの預託原資借入及び取扱金融機関への預託

- ・借入及び預託年月日：4月2日
- ・借入額及び預託額：87,063,415千円
- ・借入利率：1.425%
- ・損失補償契約の締結：取扱金融機関から預託原資が償還されなかった場合には県が損失補償を行うことについて、県、預託原資調達先金融機関と3者契約を締結した。
- ・事業実施に係る県との協定の締結：県の融資計画に基づき事業を実施することについて、県と協定を締結した。

〔預託状況〕

制度融資名	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
中小企業制度融資	74,681,000千円	88,629,950千円	△13,948,950千円	84.3%
産業集積促進融資	10,187,942千円	11,954,015千円	△1,766,073千円	85.2%
産業立地促進融資	2,194,473千円	2,556,020千円	△361,547千円	85.9%
合 計	87,063,415千円	103,139,985千円	△16,076,570千円	84.4%

イ 預託原資の償還

取扱金融機関から償還された預託原資を借入金融機関に償還した。

償還年月日：3月29日

ウ 県制度融資の利用促進

制度融資利用企業の増大を図るため、「中小企業サポートかながわ」や「KIP ホームページ」等へ掲載するなどして広くPR活動を展開したほか、中小企業者等から運転資金や設備資金の調達に関する相談を受けた際に、制度融資のメニューの中の最適なものの紹介に努めた。

中小企業サポートかながわ4月号	神奈川県中小企業制度融資制度のご案内
中小企業サポートかながわ5月号	フロンティア資金（雇用対策特別融資）の紹介
中小企業サポートかながわ6月号	創業支援融資（経営サポート型）のご案内
中小企業サポートかながわ8月号	企業化支援資金（スタートアップ融資）のご案内
中小企業サポートかながわ9月号	フロンティア資金（ソーラー発電等促進融資）のご案内
中小企業サポートかながわ10月号	フロンティア資金（新たな事業展開対策融資）のご案内
中小企業サポートかながわ11月号	フロンティア資金（ソーラー発電等促進融資）のご案内
中小企業サポートかながわ12月号	景気対策特別融資（セーフティ別枠）のご案内
中小企業サポートかながわ1月号	経営力強化サポート融資のご案内
中小企業サポートかながわ2月号	景気対策特別融資（一般枠）のご案内
中小企業サポートかながわ3月号	フロンティア資金（新たな事業展開対策融資）のご案内

(5) 中小企業再生支援のためのファンドへの出資

[かながわ中小企業再生支援ファンド概要]

- ・ファンド総額：24.1億円（KIPは総額で50,000千円を出資予定）
- ・目的：地域金融機関、信用保証協会、中小企業支援機関、神奈川県中小企業再生支援協議会等と連携し、県内中小企業の債権や株式を中長期的に保有して、継続的に支援することにより、中小企業の再生を進め、地域経済の活性化、雇用の維持を図った。
- ・出資者：独立行政法人中小企業基盤整備機構、公益財団法人神奈川産業振興センター、株式会社横浜銀行、株式会社神奈川銀行、横浜信用金庫、川崎信用金庫、湘南信用金庫、三浦藤沢信用金庫、さがみ信用金庫、平塚信用金庫、中栄信用金庫、中南信用金庫、小田原第一信用組合、相愛信用組合、株式会社八千代銀行、スルガ銀行株式会社、株式会社静岡中央銀行、神奈川県信用保証協会、横浜市信用保証協会、川崎市信用保証協会
- ・支援対象地域：神奈川県内
- ・ファンド運営者：横浜キャピタル株式会社
- ・主な対象企業：再生支援協議会で再生支援計画策定支援を受けた企業

[平成24年度出資額] 4,465千円

5 国際化支援（総務課、国際取引振興課、事業課）

(1) 大連・神奈川経済貿易事務所の運営（総務課）

中国での拠点設置やビジネス展開に取り組む県内中小企業者の支援や、既進出の企業の支援に取り組むため、中国大連地区に神奈川経済貿易事務所を設置し、その運営を行った。

ア 県内企業の中国進出（既進出企業含む）支援事業

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
活 動 支 援	74件	94件	△20件	78.7%
情 報 収 集 等	69件	86件	△17件	80.2%
計	143件	180件	△37件	79.4%

イ 中国企業の県内への誘致事業

内 容	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
個別企業に対する誘致 活動他	25件	20件	5件	125.0%

ウ その他

内 容	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
遼寧省、大連市等の政府関係との連絡調整事業	26件	25件	1件	104.0%
中国各地を訪問する県内団体等への支援事業	6件	10件	△4件	60.0%
各種調査、広報事業	9件	12件	△3件	75.0%
上記の各事業に付随する事業	28件	25件	3件	112.0%
その他	105件	87件	18件	120.7%
計	174件	159件	15件	109.4%

(2) 国際ビジネス展開の支援（国際取引振興課）

ア ミッションの派遣

アジア地域への直接投資や貿易取引の拡大を支援するため、現地の経済環境等を調査するとともに、現地企業と交流するミッションの派遣を行った。

ミッション派遣	会 期	内 容	参加者数
インド	5月5日～9日	現地の投資環境と経済状況の把握	2社2名
インドネシア	12月5日～9日	個別商談会、現地工場等の視察等	9社11名
ミャンマー	1月15日～19日	現地の投資環境と経済状況の把握	13社15名

イ 海外展示会への出展

アジア地域のマーケットへの進出を支援するため、同地域で開催される展示会への出展の機会を提供した。

また、海外マーケットへの進出を多方面から支援するため、展示会出展企業と現地企業との商談、展示会視察団の派遣等を行った。

名 称	主 催	会 期	内 容	参加者数
中国大連輸出入商品交易会および大連国際工業博覧会	中国国際貿易促進委員会、遼寧省人民政府等	5月16日～5月18日	KIPブース内での製品等の展示	7社
SUBCON THAILAND 2012	タイ投資委員会事務局、産業リンク開発部等	5月17日～5月19日	KIPブース内での製品等の展示	6社

ウ 海外ミッションの受け入れ

関係機関との連携により、県内への進出調査や商談等のために来県した海外ビジネスミッションを受け入れ、投資セミナーの開催等を、また海外経済機関（BOI等）の在日日本事務所等との情報交換を行った。

開 催 日	内 容	参加者数
7月31日	中国遼寧省外事弁公室（ミッション受け入れ）	4名
	中国遼寧省投資説明会（投資セミナー）	25名

(3) 外資系企業等セミナー等の運営（国際取引振興課）

ア グローバルネットワーキングセミナーの開催

外資系企業の相互連携の促進や県内中小企業とのネットワーク構築等を支援するため、少人数による目的別の交流会等を開催した。

日 程	内 容	参加者数
6月5日	名 称：日欧ビジネスセミナー・交流会 主 催：神奈川県、日欧産業協力センター、JETRO 横浜、KIP	126名

イ 外資系企業フォローアップセミナーの開催

外資系企業の神奈川県への進出促進・定着を図るため、日本でのビジネスに必要な税制、商習慣等の情報提供等を行った。

日 程	内 容	参加者数
11月27日	名 称：外資系企業サポートセミナー 主 催：神奈川県、JETRO 横浜、KIP、株式会社メディカルアソシア	27名

6 人材育成支援（事業課、国際取引振興課、経営企画室）

厳しい経済環境の中で、創業・新分野進出や県内中小企業等の経営安定・経営改善に取り組む人材を育成するために、セミナーや実践的な研修を実施した。

(1) ビジネスプラン実践講座の開催（事業課）

創業等に必要となる基礎知識を習得し、ビジネスプランのブラッシュアップを図るため、個別指導も交えた実践講座を開催した。

・テーマ：ビジネスプランのブラッシュアップ ・開催回数：8回

名称	日程	開催内容	参加者数
入門編 第1回	1月19日	テーマ：絶対に知っておきたい創業の心得10カ条 場所：センタービル6階大研修室	4名
入門編 第2回	1月26日	テーマ：他社を圧倒する強みを構築しよう 場所：センタービル6階大研修室	6名
実践編 第3回	2月2日	テーマ：創業経験者体験談 場所：センタービル6階大研修室	4名
実践編 第4回	2月9日	テーマ：成功するためのビジネスプラン作成方法 場所：センタービル6階大研修室	5名
実践編 第5回	2月23日	テーマ：創業時に役立つお金をかけないIT知識とIT活用術 場所：センタービル6階大研修室	4名
実践編 第6回	3月2日	テーマ：創業に使える融資と財務面の基礎知識 場所：センタービル6階大研修室	2名
実践編 第7回	3月9日	テーマ：営業による差別化手法とプレゼンスキル 場所：センタービル6階大研修室	3名
実践編 (希望者のみ)	3月16日	テーマ：セミナー講師による個別相談 場所：センタービル6階大研修室	3名
実践編 第8回	3月23日	テーマ：受講生によるビジネスプラン発表会 場所：センタービル6階大研修室	4名

(2) 経営革新支援研修の実施（事業課）

県内中小企業の経営革新活動を促進するため、普及・啓発的な研修等を実施した。

・テーマ：中小企業の経営革新に関連するテーマ

区分	日程	内容	参加者数
第1回	12月13日	テーマ：中小企業のためのWebマーケティング講座 場所：センタービル13階第1会議室	30名
第2回	1月24日	テーマ：中小企業のためのわかりやすいブランド戦略 場所：センタービル13階第3会議室	25名
第3回	3月18日	テーマ：中小企業のための組織営業力向上セミナー 場所：センタービル13階第2会議室	41名

(3) 現場のムダとり実践講座の開催（事業課）

PEC産業教育センターの協力を得て、生産現場のリーダー等を対象に、ムダとり（トヨタ生産方式）等に関するノウハウ習得を図るため、座学および工場実習による実践的な研修を開催した。また、研修生自らが自社カイゼンを実践できるよう、講師等による現場訪問等のフォローを行った。

区 分	日 程	内 容	参加者数
第1セッション	9月12日～ 9月13日	内 容：モラル訓練/ムダとり訓練 場 所：PEC産業教育センター	11名
第2セッション	10月25日	内 容：工場実習 場 所：ブルーマチックジャパン株式会社	12名
第3セッション	11月20日	内 容：工場実習 場 所：株式会社末吉ネームプレート製作所	12名
第4セッション	12月20日	内 容：工場実習/自社カイゼン成果発表会 場 所：株式会社秦野精密	11名 (32名)

※第4セッションにおける（）内の数は、成果発表会に参加した人数

(4) 国際ビジネス等支援研修の開催（事業課、国際取引振興課）

企業の国際ビジネス展開を実務や人材面から支援するため、また、海外進出全般等に関連する情報を中小企業に提供するため、セミナー・研修を開催した。

ア 国際人材養成講座

区 分	日 程	内 容	参加者数
第1回	9月13日	テーマ：ネイティブによるビジネス英語スキルアップセミナー（エンジニア編） 講 師：クディラ アンド アソシエイト株式会社 スコット サイズモア 氏 会 場：センタービル6階大研修室	10名
第2回	9月27日	テーマ：ネイティブによるビジネス英語スキルアップセミナー（営業編） 講 師：クディラ アンド アソシエイト株式会社 スコット サイズモア 氏 会 場：センタービル13階第3会議室	12名
第3回	10月9、17、24、 31日、11月7、 14、21、28日、 12月5、13日 (全10回)	テーマ：ビジネス中国語講座 講 師：神奈川県日中友好協会 登録講師 談 元元 氏 会 場：センタービル13階 第3会議室、特別会議室B	7名

第4回	12月19日	<p>テーマ： ミャンマー基礎講座 ～異文化理解とミャンマー語～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミャンマーの異文化理解とビジネスマナー」 講師： ビジネスコーディネーター 蔭山 豪 氏 ・「はじめてのミャンマー語講座」 講師： ICC 外語学院 登録講師 吉丸 カイン 氏 <p>会場： 産業貿易センタービル7階会議室</p>	59名
-----	--------	---	-----

イ 県内企業国際化支援セミナー

区分	日程	内容	参加者数
第1回	6月14日	<p>テーマ： 貿易実務基礎セミナー ～よくわかる貿易の実務～</p> <p>講師： 商船三井キャリアサポート株式会社 専任講師 木村 雅晴 氏</p> <p>会場： センタービル6階大研修室</p>	16名
第2回	10月4、18日、 11月1、15日 (全4回)	<p>テーマ： 貿易書類作成セミナー</p> <p>講師： 商船三井キャリアサポート株式会社 専任講師 木村 雅晴 氏</p> <p>会場： センタービル6階大研修室</p>	12名
第3回	1月10、17、 23日 (全3回)	<p>テーマ： 貿易英語講座</p> <p>講師： NPO 法人国際社会貢献センター 登録アドバイザー 宮本 正明 氏</p> <p>会場： センタービル6階大研修室</p>	9名

ウ 国際経済ビジネスセミナー

区分	日程	内容	参加者数
第1回	8月29日	<p>テーマ： インドネシア・ビジネスセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インドネシアの経済概況、投資環境」 講師： インドネシア共和国投資調整庁 日本事務所 所長代理 アビッド・ワヒド・サスミト 氏 ・「インドネシアにおけるビジネスチャンス」 講師： 兼松株式会社 輸送機部自動車部品課長 小川 博士 氏 ・「インドネシアの工業団地、レンタル工場の紹介」 双日株式会社、住友商事株式会社、 株式会社フォーバル 	113名

		<ul style="list-style-type: none"> ・「インドネシアで実施する個別商談会の紹介」 講 師：株式会社事業革新パートナーズ 代表取締役 茄子川 仁 氏 <p>会 場：センタービル 14 階多目的ホール</p>	
第 2 回	12 月 21 日	<p>テ ー マ: インドビジネス実務セミナー ～知っておくべき法制度と交渉のポイント～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インドビジネスの実情 知っておくべき法制度交渉のポイント」 講 師：小島国際法律事務所 パートナー 弁護士 小川 浩賢 氏 ・「ジェトロの対インドビジネス支援策」 講 師：独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)横浜貿易情報センター 所長 石井 淳子 氏 <p>会 場：センタービル 13 階第 2 会議室</p>	33 名
第 3 回	2 月 7 日	<p>テ ー マ：ミャンマービジネスセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミャンマー経済の現状と課題」 講 師：国際協力銀行 産業ファイナンス部門 中堅・中小企業担当特命審議役付参事役 奥山 裕之 氏 ・「ミャンマーのビジネスチャンスと留意点」 講 師：ASEAN・東アジアビジネス支援機構 専務理事 星野 達哉 氏 ・「ミャンマービジネスの可能性について」 コーディネーター： アジアビジネス探索者 法政大学経営革新 フォーラム事務局長 増田 辰弘 氏 <p>パネリスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 国際協力銀行 産業ファイナンス部門 中堅・中小企業担当特命審議役付参事役 奥山 裕之 氏 ➤ ASEAN・東アジアビジネス支援機構 専務理事 星野 達哉 氏 ➤ ビジネスコーディネーター 蔭山 豪 氏 ➤ 株式会社ジョイテック 代表取締役 三石 喬 氏 ➤ 三菱東京UFJ銀行 国際業務部 地域戦略グループ ミャンマーデスク 京野 孝一 氏 <p>会場：パシフィコ横浜アネックスホール</p>	184 名

第4回	3月19日	<p>テーマ：中小企業のための海外進出セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「変貌するアジアのビジネス環境と中小企業のアジア展開の現状・課題」 日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 アジア大洋州課 課長 若松 勇 氏 ・「中小企業の海外ビジネス支援について」 株式会社浜銀総合研究所 海外ビジネス支援部 部長 吉田和朗 氏 ・「海外展開支援に求められるリスクマネジメント」 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 ビジネスリスク事業部グローバルグループ グループリーダー 主席研究員 深津 嘉成 氏 ・「海外展開支援について」 ジェトロ横浜、神奈川産業振興センター <p>会場：はまぎんホール「ヴィアマーレ」</p>	170名
第5回	3月25日	<p>テーマ「三県省道経済セミナー・交流会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三県省道経済セミナー 「中国・遼寧省の投資環境のご紹介」 「県内企業による中国・遼寧省での海外ビジネス事例」 「韓国・京畿道の投資環境の紹介」 「県内企業による韓国・京畿道での海外ビジネス事例」 「韓国企業による日本でのビジネス展開計画の紹介」 ・三県省道交流会 <p>会場：ワークピア横浜</p>	90名

(5) その他のセミナー・研修の開催（事業課、経営企画室）

個別中小企業の課題解決を図るために、要望に応じたオーダーメイド型研修を実施した。

日程	内容	参加者数
5月11日	<p>テーマ：基礎的な財務知識について</p> <p>講師：株式会社 フューチャースケープパートナーズ 代表取締役 舟生 俊博 氏</p> <p>会場：株式会社 M 本社</p>	20名

中小企業の情報化を支援するために、中小企業向け IT セミナー全 8 回を実施した。

区分 (日程)	内 容	参加者数
第 1 回 (12月19日)	テーマ:「今さら聞けない インターネットの基礎知識」 講 師:株式会社ぴーふる 橋本 誠 氏 会 場:センタービル 14 階多目的ホール	42 名
第 2 回 (1月16日)	テーマ:「今さら聞けない ビジネスサイトづくり 10 のポイント」 講 師:株式会社ぴーふる 井上 政弘 氏 会 場:センタービル 6 階大研修室	30 名
第 3 回 (1月25日)	テーマ:「今さら聞けない サイト制作の基礎～WordPress と HTML と CSS」 講 師:株式会社ぴーふる 牛尾 好宏氏 会 場:センタービル 6 階大研修室	39 名
第 4 回 (2月8日)	テーマ:「今さら聞けない iPad を使った画像加工」 講 師:株式会社ぴーふる 会 場:パシフィコ横浜展示ホール 2 階会議室 E204	25 名
第 5 回 (2月8日)	テーマ:「今さら聞けない iPad と iMovie での動画編集」 講 師:株式会社ぴーふる 会 場:パシフィコ横浜展示ホール 2 階会議室 E204	
第 6 回 (2月22日)	テーマ:「今さら聞けない Facebook の基礎知識 1～Facebook の使い方」 講 師:株式会社ぴーふる 会 場:センタービル 6 階大研修室	33 名
第 7 回 (3月8日)	テーマ:「今さら聞けない Facebook の基礎知識 2～Facebook ページの作成」 講 師:株式会社 ぴーふる 会 場:センタービル 6 階大研修室	38 名
第 8 回 (3月8日)	テーマ:「今さら聞けない Facebook の基礎知識 3～Facebook ページの作成」 講 師:株式会社 ぴーふる 会 場:センタービル 6 階大研修室	

Ⅲ 支援機関との連携・協働の推進

1 地域連携（経営総合相談室）

(1) 県産業技術センターとの組織的連携の推進

ものづくり系中小企業者へのワンストップサービス体制の強化を図るため、経営面から支援する KIP と技術面（デザイン相談を含む）から支援する県産業技術センターとの組織的レベルでの連携を強化し、経営と技術の一体的支援体制の充実を図った。

経営と技術の出前相談の実施

中小企業者等からの求めに応じ、KIP 職員と県産業技術センター職員が現場に出向き、経営と技術に関する課題に対して、適切な助言と情報提供を実施した。

区分	25年3月末 (A)	24年3月末 (B)	A-B	A/B
相談件数	136 件	90 件	46 件	151.1%

(2) 地域支援機関との連携

県内の中小企業者等に対する支援をより効果的なものにするため、商工会議所・商工会等の地域支援機関や金融機関と情報交換・意見交換を行った。

ア 中小企業地域支援機関連携促進会議の開催

中小企業地域支援機関連携促進会議

開催日	テーマ	開催場所	参加機関
6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 講演「これからの商店街支援のあり方」 講師：鈴木 博明 氏（県商工労働局産業部商業流通課まちづくりグループ） 自由討議 KIP 退職キャリア人材派遣事業の説明 中小企業再生支援協議会からの事業説明 その他支援機関からの情報提供 	センタービル 6階大研修室	18 機関 (23 名)

イ 金融機関連携情報交換会議の開催

構成機関と情報交換・意見交換を行うとともに、連携事業等について検討・実施した。
金融機関連携情報交換会議

開催日	テーマ	開催場所	参加機関
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> 講演「新製品開拓（買付け）の秘訣&売れ筋商品の創り方・見分け方」 講師：退職キャリア人材派遣事業巡回相談員 富永 浩司 氏 情報提供（県金融課） 平成24年度神奈川県中小企業制度融資の概要等について KIP と金融機関との連携状況について 	センタービル 6階大研修室	23 機関 31 名

2 全国連携（総務課、取引振興課）

(1) 全国の支援機関との交流・連携

県内の中小企業者等に対する支援をより効果的なものにするため、全国各地で開催された会議に参加し、情報交換・意見交換を行った。

ア 五都府県中小企業振興機関経営問題連絡会議への参加

開催日	内 容	開催場所	参加人数
10月18日 ～19日	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちいさな企業未来会議」に係る来年度の取り組み及び小規模企業政策の見直しについて ・公益財団法人における収益事業の展開について ・情報セキュリティ計画について ・地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター視察 	東京都	2名

イ 関東ブロック中小企業支援機関連絡会議等関東レベルの会議への参加

総会

開催日	内 容	開催場所	参加人数
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に向けた販路開拓支援について ・平成24年度新規取り組み事業について ・協議会総会の開催回数の見直しについて 	千葉県	3名

取引振興支援担当者会議

開催日	内 容	開催場所	参加人数
7月12日 ～13日	<ul style="list-style-type: none"> ・商談会における新たな手法への取り組みについて ・登録企業促進について ・職員の資質向上について 	静岡県	1名

企画・総務関係担当者会議

開催日	内 容	開催場所	参加人数
10月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の実施について ・公益財団法人移行に伴う各都県の状況について ・登録している商標及び使用状況、管理の方法について 	長野県	2名

設備導入支援担当者会議

開催日	内 容	開催場所	参加人数
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模企業者等設備導入資金制度の存続について ・設備導入支援事業が廃止された場合の対応について ・暴力団関係者からの申込み排除について 	静岡県	2名

新事業支援担当者会議

開催日	内 容	開催場所	参加人数
2月15日	<ul style="list-style-type: none"> 国際化支援における各支援機関との連携について 登録専門家のデータベースの活用方法について 中小企業金融円滑化法終了に係る出口支援策について 	埼玉県	2名

総会

開催日	内 容	開催場所	参加人数
書面表決	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会事業計画及び収支予算（案）について 平成25年度、26年度関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会役員を選出について 関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会規約の改正について 	—	—

(2) 富山県新世紀産業機構との組織的連携の推進（取引振興課）

KIPと富山県新世紀産業機構の間で、組織的連携の強化を図り、中小企業に対する受発注窓口を相互に設けることで取引あっせんを支援した。

ア 担当窓口設置

設置日	内 容
9月5日	・ KIP、富山県新世紀産業機構が中小企業相互窓口を設置

イ 富山県新世紀産業機構との会議の開催

開催日	開催場所	テーマ	参加人数
10月9日	センタービル 5階会議室	KIPと富山県新世紀産業機構の連携による中小企業相互窓口の設置に係る件について	KIP 4名 富山 2名

ウ 神奈川県、富山県の受注企業情報をホームページに相互掲載

- 更新回数：月1回（原則毎月15日更新）

連携機関	掲載受注企業数
KIP	11社
富山県新世紀産業機構	5社

エ 富山県ものづくり商談会 in 東京

富山県新世紀産業機構が主催する商談会に、神奈川県の受注企業の参加を推進した。

開催日	開催場所	連携機関	参加企業数
2月26日	東京ガーデンパレス	KIP 富山県新世紀産業機構	発注 25社
			受注 44社 (内 KIP より 10社)

IV KIPの活動を支える事業の展開

1 センタービル運営・管理（総務課）

KIPが実施する中小企業支援を財源面で支えるため、神奈川中小企業センタービルの適切な運営・管理を行った。

(1) ビルの管理

ビルの管理は、ビル管理会社へ建物管理を一括して委託することにより、コスト削減とテナントサービスの向上を図った。また、施設・設備の老朽化に適切に対応した修繕を実施した。

電気使用料金については、平成22年度に対し約30%削減した昨年度の使用料と比較し、1.2%のコスト削減が実現できた。

また、長期修繕については、空調に係る吸収式冷温水機更新工事を9月から12月に実施した。

(2) 事務室等の提供

ア 貸事務室の運営

中小企業支援機関や関係団体等の活動拠点として、事務室等を提供するとともに、テナントの親睦会である「睦会」を運営し、会員相互の情報交換を行った。また、インキュベートルームを設けて創業予定者や創業間もないベンチャー企業に提供した。

a 貸事務室

貸室数：43室 貸室面積：3,659.77㎡

[利用状況]

区分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用件数	37室	42室	△5室	88.1%
収入金額	239,726千円	251,339千円	△11,613千円	95.4%
入居率	86.0%	97.7%	△11.7%	88.0%

b インキュベートルーム(再掲)

区画数：14区画(23年度は15区画)

[利用状況]

区分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用区画	7区画	5区画	2区画	140.0%
入居率	50.0%	33.3%	16.7%	150.2%
平均利用件数	5.6区画	5.7区画	△0.1区画	98.2%

c ドリカムスペース(再掲)

区画数：4区画

[利用状況]

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用区画	3区画	1区画	2区画	300.0%
入居率	75.0%	25.0%	50.0%	300.0%
利用者累計	12名	7名	5名	171.4%

イ 貸会議室等の運営

入館者をはじめとする中小企業関係団体・中小企業等に貸会議室及び各種催し物等に活用できる多目的ホールを提供し、活動に役立ててもらった。

(施設内容)

施設名	面積	定員	施設名	面積	定員
特別会議室A	63.0 m ²	20人	特別会議室B	58.0 m ²	22人
第1会議室	84.0 m ²	39人	多目的ホール	372.0 m ²	220人
第2会議室	180.0 m ²	93人	ミーティングルーム	71.0 m ²	26人
第3会議室	180.0 m ²	93人			

[利用状況]

<会議室>

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用件数	959件	653件	306件	146.9%
収入金額	30,201千円	16,893千円	13,308千円	178.8%

<多目的ホール>

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用件数	146件	58件	88件	251.7%
収入金額	12,080千円	5,320千円	6,760千円	227.1%

※平成23年度上半期については、13階の会議室・多目的ホールが東日本大震災で被災したため、4月～9月下旬まで利用できない状況にあった。

ウ 駐車場の運営

入居しているテナント及び来所する中小企業者や関係団体等が当センタービルを利用しやすいよう駐車場を運営した。

(施設内容)

- ・ 立体駐車場 62台収容

〔実施状況〕

区分		25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
時間貸	利用件数	10,831件	11,001件	△170件	98.5%
	収入金額	6,412千円	7,031千円	△619千円	91.2%
月極	利用台数	22台	21台	1台	104.8%
	収入金額	8,230千円	7,234千円	996千円	113.8%
合計	収入金額	14,642千円	14,265千円	377千円	102.6%

2 万葉荘運営・管理

6月5日開催の理事会で決議した万葉荘に係る今後の運営方針に基づき、平成25年3月10日に営業を、3月末をもって運営を終了した。

(施設内容)

客室数	宿泊定員	施設内容
28室	139人	大風呂、岩風呂、家族風呂、大広間(90人)、椿の間(40人)、会議室(90人)、駐車場(40台)、万緑窯

〔実施状況〕

区分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
利用者数	18,790人	19,406人	△616人	96.8%
収入金額	202,283千円	220,567千円	△18,284千円	91.7%

※平成24年度については、営業終了日である3月10日までの数字。

3 工業見本市等イベント開催事業（事業課）

県内中小企業者等の販路開拓を支援するため、各社の技術・製品・情報等を展示・紹介する場となる技術見本市等を開催した。

(1) 工業技術見本市（テクニカルショウヨコハマ2013）

区 分	24 年度	23 年度
開 催 日	2 月 6 日～8 日	2 月 1 日～3 日
会 場	パシフィコ横浜展示ホール	パシフィコ横浜展示ホール
開催規模	433 小間 10,000 m ²	392 小間 10,000 m ²
出 品 物	工業技術製品全般	工業技術製品全般
出展社数	498 社・団体	413 社・団体
来場者数	29,118 名	30,912 名
引合件数	10,042 件	6,945 件

(2) 先端技術見本市（テクノトランスファーinかわさき2012）

区 分	24 年度	23 年度
開 催 日	7 月 11 日～13 日	7 月 6 日～8 日
会 場	かながわサイエンスパーク イノベーションセンター	かながわサイエンスパーク イノベーションセンター
開催規模	126 小間 1,000 m ²	115 小間 1,000 m ²
出 品 物	先端技術製品全般	先端技術製品全般
出展社数	133 社・団体	129 社・団体
来場者数	8,693 名	8,922 名
引合件数	811 件	763 件

4 円滑な組織運営（総務課）

(1) 組織体制の整備

ア 組織体制の見直し

県派遣職員が漸減する中で、公益財団法人にふさわしい事業活動を実施するため、効果的・効率的な人員配置を行った。

人事異動を4月2日(異動対象者:5名)、7月2日(異動対象者:10名)に実施した。

人員配置

常勤役員：理事長、専務理事

職員：事務局長以下89名（万葉荘18名を含む）

（職員の内訳）

※（ ）は万葉荘職員内数

区 分	平成25年3月末	平成24年3月末
プロパー職員	72(18)	63(19)
県派遣職員	3	5
県OB職員	0	1
金融機関派遣職員	2	3
民間派遣会社派遣職員	6	9
非常勤職員等	6	6
合 計	89	87

5 職員の能力開発（総務課）

県派遣職員の漸減に対応するため、プロパー職員等を対象にスキルアップ研修等を行った。

(1) スキルアップを図るための研修

中小企業大学校が開催する中小企業支援担当者研修課程への参加

コース名	日 程	参加者数
経営革新の計画と支援	7月17～20日	1名
市区町村等産業振興関係者研修	8月20～24日	1名
中小企業経営診断セミナー	9月18日	10名
BCP作成支援の進め方	10月25日～26日	1名
中小企業の海外展開支援の進め方	2月13日～15日	2名
企業の目利きⅠ～経営資源の見方と支援～	2月18日～22日	1名
中小企業の海外展開支援の進め方	3月6日～8日	1名

職員研修

開催日	内 容	参加者数
9月25日	第1回 職員研修 テーマ：世界経済の動向と神奈川県産業戦略 講師：株式会社未来戦略研究所 代表取締役 根本 昌彦 氏	41名

事故・不祥事防止研修

開催日	内 容	参加者数
9月19日 9月21日	テーマ：「職場における身近なリスクについて」 ビデオ視聴：「危ない！職場でのリスク事例集」 岩渕専務理事による講義 「事故・不祥事防止について」	59名
10月31日	テーマ：「職場における身近なリスクについて」 ビデオ視聴：「私たちのコンプライアンス」 岩渕専務理事による講義 「事故・不祥事防止について」	10名

6 会員組織運営（事業課、取引振興課）

会員組織 KIP 会の事業活動を活性化することにより、会員相互の連携強化、会員の KIP 支援事業の利用促進を図るため、KIP 会を運営した。

(1) 会員総会・運営委員会の開催（事業課）

KIP 会の意思決定機関である会員総会、運営委員会を開催した。

ア 運営委員会・総会

開催日	内 容	参加者数
6 月 28 日	平成 24 年度 KIP 会運営委員会 (1) 平成 23 年度事業報告書・収支決算書（案）について監査報告 (2) 平成 24 年度事業計画書・収支予算書（案）について (3) 役員を選任について	本人出席 13 名 委任状出席 10 名 出席者合計 23 名
	平成 24 年度 KIP 会会員総会 (1) 平成 23 年度事業報告書・収支決算書（案）について監査報告 (2) 平成 24 年度事業計画書・収支予算書（案）について (3) 役員を選任について	本人出席 71 名 委任状出席 264 名 出席者合計 335 名

(2) 部会・研究会運営事業（事業課、取引振興課）

部会及び研究会を運営した。

ア 部会活動等（事業課）

開催日	内 容	参加者数
4 月 13～ 14 日	新入社員研修 テーマ：コミュニケーションスキルの向上 講 師：KK フォレスト 代表 高木 紀世子 氏 株式会社ジェムコ日本経営 太田 康雄 氏 会 場：万葉荘	9 名
6 月 13 日	第 70 回女性管理職・中堅社員交流会（KEEP 部会） ・ 事例発表「仕事のレベルアップには何が必要か」 講 師：KK フォレスト 代表 高木 紀世子 氏 ・ グループディスカッション テーマ：「仕事の基本とは何か」 会 場：センタービル 13 階特別会議室 A	8 名
6 月 19 日	KEEP 部会ミーティング ・ 今後の部会活動についての意見交換 会 場：センタービル 13 階第 3 会議室、特別会議室 A	8 名

7月4日	<p>第27回企業経営者情報交換会議（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「日本の電力を考える ～いまだからこそ電力について考えてみよう 電力の6つの法則」 美和電気株式会社 代表取締役 千葉 克実 氏 ・ グループディスカッション <p>テーマ：「今の時代、経営者として何が必要か」 会場：センタービル13階第3会議室、特別会議室A</p>	12名
7月20日	<p>第78回人事・総務担当者交流会（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「職場のメンタルヘルスケア」 ウェルリンク・メンタルヘルス研究所 所長 小西 喜朗 氏 ・ グループディスカッション <p>テーマ：「メンタルヘルスの自社での状況および可能と思われる対応策」 会場：センタービル13階第1会議室</p>	14名
8月21日	<p>工業部会ミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の部会活動についての意見交換 <p>会場：センタービル13階特別会議室A</p>	19名
11月14日	<p>第28回企業経営者情報交換会議（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「これからの自動車機器を考える」 講師：協同電子エンジニアリング株式会社 取締役社長 北澤 晶彦 氏 ・ グループディスカッション <p>会場：センタービル13階第3会議室</p>	7名
11月16日	<p>第79回人事・総務担当者交流会（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「最近の採用事情と変わる採用手法」 講師：株式会社ディスコ 営業第1グループ長 佐藤 勝博 氏 ・ グループディスカッション <p>テーマ：「採用についての各社の対応策」 会場：センタービル13階第1会議室</p>	10名
12月12日	<p>第71回女性管理職・中堅社員交流会（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「横浜植木株式会社の歩みと社内報」 講師：横浜植木株式会社 管理部 副参事 富田 美香恵 氏 ・ グループディスカッション <p>テーマ：「会社の存続には何が必要か」 会場：センタービル13階第1会議室、特別会議室A</p>	8名

2月20日	<p>第29回企業経営者情報交換会議（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「60歳で、新規事業への挑戦！」 <p>講 師： 株式会社東科精機 代表取締役社長 松波 登 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッション <p>テーマ：「経営者として一番大切なことは何か？」</p> <p>会 場：センタービル6階大研修室</p>	8名
3月1日	<p>第80回人事・総務担当者交流会（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講 演 「ヤル気一マンが職場を変える！」 ～中堅社員のモチベーション向上～ <p>講 師： 株式会社M×E コンサルティング 代表取締役 松嶋 清秀 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッション <p>テーマ：「中堅社員のモチベーションの現状および問題点」</p> <p>会 場：センタービル6階大研修室</p>	12名
3月13日	<p>第72回女性管理職・中堅社員交流会（KEEP 部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表 「あーすぷらざで働くこと ～外国籍県民との多文化共生を目指して～」 <p>講 師： 公益財団法人青年海外協力協会（JOCA） 神奈川県立地球市民かながわプラザ あーすぷらざ 多文化共生・情報班 本田 怜子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッション <p>テーマ：「企画・提案について ～良い企画・提案とは」</p> <p>会 場：センタービル6階大研修室</p>	8名

イ 研究会活動（事業課、取引振興課）

(ア) ビジネス・チャンス開拓研究会（取引振興課）

開催日	内 容	参加者数
5月9日	運営委員会開催	5名
6月4日	ビジネス・チャンス開拓研究会総会	19名
7月11日～13日	テクノトランスファーへの参加（有志の会）	3名
9月14日	第1回工場見学会（キリン横浜ビアビレッジ）	8名
11月28日	第2回工場見学会（株式会社東邦製作所）	9名
2月6日～8日	テクニカルショウヨコハマ 2013 共同出展	9社8小間

(イ) ネットマーケティング研究会（事業課）

開催日	内 容	参加者数
5月8日	テーマ: 第1回「キーワードを見つけ調整する」 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	10名
6月12日	テーマ: 第2回「アクセス分析データを使ったHP改善」 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	8名
7月24日	テーマ: 営業支援の最強ツール『クラウドサービス』を使いこなす 司 会: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏 講 師: 第1部 ゴーホージャパン株式会社 事業部部長 中沢 仁 氏 第2部 ソフトバンクテレコム株式会社 営業推進部 部長 稲村 公俊 氏 第3部 ソフトバンクテレコム株式会社 営業推進部 担当部長 小原 宏之 氏	10名
8月7日	テーマ: 「動画マーケティングで営業が変わる！」 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	5名
9月11日	テーマ: 「Google アワードで集客・収益アップ」 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	5名

*会場はすべてセンタービル6階大研修室

[動画セミナー]

開催日	内 容	参加者数
5月9日	テーマ: 中小企業だからできる動画マーケティングセミナー① 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	8名
5月15日	テーマ: 中小企業だからできる動画マーケティングセミナー② 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	9名

*会場はすべて NTT 光 HOUSE YOKOHAMA セミナーハウス

[動画活用塾]

開催日	内 容	参加者数
5月16日	テーマ: 動画マーケティングマニュアル 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	8名
6月20日	テーマ: 動画制作の手引き 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	8名
7月18日	テーマ: マインドシェア獲得のための動画マーケティング 講師: 有限会社飄現舎 代表 木村 剛 氏	5名

*会場はすべてセンタービル6階大研修室

(3) 会員交流促進事業

ア 会員交流会

会員相互の交流を促進するため、会員交流会など交流の場を提供した。

開催日	内 容	参加者数
6月28日	KIP 会会員交流会 会 場：センタービル 14 階多目的ホール	83 名
2月8日	KIP 会賀詞交歓会 会 場：パンパシフィック横浜ベイホテル東急 B2 階「クイーンズグランドボールルーム C・D」	176 名

イ 「KIP 会ひろば」の発行

会員の交流、相互理解の促進を図るため、KIP 会主催のイベント情報や会員企業の情報を提供する、「KIP 会ひろば」を発行した。

- ・ 発行回数：年 4 回
- ・ 発行部数：600 部／回

(4) 公開セミナー・勉強会等開催事業（事業課）

経済・経営に関する情報を提供することにより、会員等の経営課題の解決に資するとともに、会員活動の活性化及び KIP 会の認知度の向上を図るため、「トップセミナー」、「講演会」及び「勉強会」などを開催した。

〔トップセミナー〕

開催日	内 容	参加者数
10月3日	テーマ：クスリのいらぬ健康法 講師：石原 結實 氏 会場：関内ホール(小ホール)	172 名
3月14日	テーマ：閉塞を打ち破れ！「タニタ食堂」から「AKB48」まで変わるヒットの作り方 講師：日経 BP ヒット総合研究所 上席研究員 品田 英雄 氏 会場：センタービル 13 階第 1・第 2 会議室	75 名

〔講演会〕

開催日	内 容	参加者数
6月28日	テーマ：「地域経済の活性化に向けて」 講師：神奈川県知事 黒岩 祐治 氏 会場：センタービル 13 階 第 2 会議室	123 名
2月8日	テーマ：「平成 25 年神奈川経済の現状と課題」 講師：日本銀行横浜支店 支店長 竹澤 秀樹 氏 会場：パンパシフィック横浜ベイホテル東急 B2 階「クイーンズグランドボールルーム A・B」	140 名

〔勉強会〕

開催日	内 容	参加者数
4月9日	<p>テーマ：新入社員ビジネスマナー</p> <p>講師：ローズアソシエイツ代表 金子 由美子 氏</p> <p>会場：センタービル6階大研修室</p>	32名
9月28日	<p>「中小企業海外展開支援セミナー パート1」</p> <p>第一部 ・KIP 国際ビジネス展開支援の紹介 ・ODA を活用した中小企業海外展開支援セミナー</p> <p>第二部 ・JICA 民間連携室事業の紹介 (JICA) ・事例紹介 (日本ベーシック株式会社) ・JICA 民間連携ボランティア事業、JICA 事業の紹介 (JICA)</p> <p>会場：センタービル13階第2会議室</p>	23名
10月11日	<p>「『債権管理』がスラスラわかる方法」</p> <p>第一部 「売上債権・貸付債権を確保する事前対策」 「債権を保全・回収するノウハウ」</p> <p>講師：弁護士 長谷山 尚城</p> <p>第二部 「それでも債権が回収出来ないとき！？ 税金を安くする方法」</p> <p>講師：税理士 横山 元</p> <p>会場：センタービル14階多目的ホール</p>	35名
10月26日	<p>「中小企業海外展開支援セミナー パート2」</p> <p>第一部 ・KIP 国際ビジネス展開支援の紹介 ・ジェトロの海外展開支援：ツール紹介と活用事例</p> <p>講師：石井 淳子 氏 (ジェトロ 横浜貿易情報センター所長)</p> <p>第二部 ・海外進出事例発表</p> <p>講師：八木 美樹男 氏 (株式会社セルタン 代表取締役)</p> <p>会場：センタービル6階大研修室</p>	18名
11月8日	<p>「若手ステップアップ研修及び懇親会」</p> <p>内 容：業務上の失敗談とそれに対するアドバイス及び職場内のコミュニケーションについて、グループディスカッション等を行った。</p> <p>講師：金子 由美子 氏 (ローズアソシエイツ代表)</p> <p>会場：センタービル6階大研修室</p>	24名
1月30日	<p>「経営者・管理者のための経営セミナー」</p> <p>第一部 「金融円滑化法終了に備えて」</p> <p>講師：神奈川県中小企業再生支援協議会 統括責任者 石井 允三幸 氏</p> <p>第二部 「元気な企業！成長を図るための戦略・革新」</p> <p>講師：社団法人日本経営士会 経営士 高橋 栄一 氏</p> <p>会場：センタービル6階大研修室</p>	20名
3月7日	<p>「経営者・管理者のための経営セミナー」</p> <p>テーマ：経営環境の変化に適応できる企業になるために</p> <p>講師：社団法人日本経営士会 南関東支部長 小林 登雄 氏</p> <p>会場：センタービル6階大研修室</p>	10名

V その他の事業

1 企業再生支援(神奈川県中小企業再生支援協議会)(国受託事業)

経営状況の悪化が、地域経済や雇用に波及することが懸念される中小企業者の再生を円滑に推進するため、「産業活力の再生及び産業活動の革新に関する特別措置法」に基づく「中小企業再生支援協議会」を設置し、中小企業の施策や人材、ノウハウ等を総合的に活用したきめ細かな支援を行った。

(1) 全体会議(開催回数:年1回)

開催月日	開催場所	内 容	参加機関
6月13日	センタービル 14階多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度再生支援業務の事業報告 再生支援事例発表 平成24年度再生支援業務の事業計画 	26機関 26名

*KIPからは理事長、専務理事の2名参加。

*参加機関には3関係機関からのオブザーバーを含む。

(2) 支援業務部門

ア 専門家の配置

再生支援業務を効果的に実施するため、支援業務部門に統括責任者及び統括責任者補佐を配置した。

- ・ 統括責任者(再生プロジェクトマネージャー) : 1名
- ・ 統括責任者補佐(再生担当マネージャー) : 14名

イ 企業再生支援

(ア) 再生相談(第1次対応)

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
一次対応企業数	104社	52社	52社	200.0%

(イ) 再生支援(第2次対応)

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
二次対応開始企業数	48社	9社	39社	533.3%
計画策定支援中企業数	30社	9社	21社	333.3%
計画策定完了企業数	34社	13社	21社	261.5%
計画策定終了企業数	1社	1社	0社	100.0%

(3) 経営改善支援センター

経営革新等支援機関が実施した中小企業・小規模事業者への経営改善計画策定に係る費用の一部を支給するため、3月8日に経営改善支援センターを開設した。

・ 専門家の配置

経営改善支援センター業務を効果的に実施するため、経営改善支援センター長及び専門相談員を配置した。

センター長:1名(統括責任者兼務)

専門相談員:2名(統括責任者補佐兼務)

2 緊急雇用創出事業（経営改善支援課）（県受託事業）

県内企業の支援ニーズの把握や支援制度の普及並びに海外市場や新たな事業領域への展開を促進するための支援を行った。

(1) 退職キャリア人材派遣事業（経営改善支援課）

海外市場や新たな産業分野への事業展開を通じて成長を目指す県内中小企業に不足する専門的な知識や経験を補うため、専門知識を持つ企業OB（巡回相談員）を一定期間無料で企業に派遣した。

また、事業の利用促進を図るため、支援の対象となる取り組みをテーマとしたセミナーを開催した。

巡回相談員：計5名（海外展開支援：2名 新たな事業領域への展開：3名）

[訪問による支援の実施（専門家派遣も含む）]

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
支援企業数	36社	37社	△1社	97.3%
支援回数	140回	135回	5回	103.7%

[セミナーの開催]

日 付	内 容	参加者数
6月26日	テーマ：Webを活用した新規顧客の開拓 講師：村上 肇 氏	42名
7月24日	テーマ：中国に活路を求めて 講師：金丸 健二氏、八木 美樹男氏、小俣 邦正氏	31名
9月26日	テーマ：顧客志向で新製品を開発 講師：山崎 隆由氏、上野 賢美氏、渡邊 大知氏	30名
10月30日	テーマ：自立型経営を目指して 講師：中村 太一氏、天野 昇氏、木下 一真氏	38名

※会場：全てセンタービル

[相談会・勉強会の開催]

区 分	25年3月末(A)	24年3月末(B)	A-B	A/B
相談企業数	91社	90社	1社	101.1%

3 欧州地域経済交流促進事業（国際取引振興課）（県受託事業）

神奈川県が、海外地域との経済交流の推進及び海外からの企業誘致の促進等を図るために用意した海外公的機関等向けオフィス（かながわ・グローバルビジネス・パートナーシップ・オフィス）を管理するとともに入居機関の事業活動を支援した。

- ・場 所：山下町支所内（横浜市中区山下町2 産貿センター2階）
- ・活動内容：オフィスの維持管理、ミッション受入等の事業への協力等
- ・入居機関：一般社団法人横浜インドセンター

4 地域需要創造型等起業・創業促進事業（事業化支援課）（国受託事業）

国による新たな起業・創業や第二創業を行う者の創業事業費等に要する経費の一部を補助する事業（地域需要創造型等起業・創業促進事業）を実施する事務局を受託した。

■ 理事会・評議員会

1 理事会開催状況

	内 容
第1回 臨時理事会	日 時：平成24年4月1日（決議の省略による） 決議事項：第1号議案 代表理事選任の件
第1回 定時理事会	日 時：平成24年6月5日（出席理事7名 出席監事2名） 決議事項：第1号議案 平成23年度（平成23年6月1日～平成24年3月31日） 事業報告書（案） 第2号議案 平成23年度（平成23年6月1日～平成24年3月31日） 決算諸表（案） 第3号議案 第4次中期経営計画（案） 第4号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター諸規程の制定 （案） 第5号議案 万葉荘の今後の運営方針（案） 第6号議案 評議員会の日時、場所、目的である事項等（案）
第2回 臨時理事会	日 時：平成24年6月22日（出席理事5名 出席監事2名） 決議事項：第1号議案 業務執行理事（専務理事）の選任（案）
第3回 臨時理事会	日 時：平成24年7月26日（決議の省略による） 決議事項：第1号議案 評議員会の日時、場所、目的である事項等の件
第2回 定時理事会	日 時：平成24年10月18日（出席理事6名 出席監事1名） 報告事項：報告事項1 平成24年度事業実施状況について 報告事項2 万葉荘の状況について 報告事項3 神奈川中小企業センタービル設備の経年劣化に伴う修繕について 報告事項4 かながわベンチャー応援ファンドの運用状況について 報告事項5 資金運用について 報告事項6 財団法人富山県新世紀産業機構との連携による中小企業相互支援窓口の設置について

<p>第4回 臨時理事会</p>	<p>日 時：平成24年11月8日（決議の省略による） 決議事項：第1号議案 万葉荘の営業期間の延長に関する件 第2号議案 万葉荘の備品等を民間事業者等に無償譲渡することに関する件</p>
<p>第3回 定時理事会</p>	<p>日 時：平成25年1月21日（出席理事6名 出席監事2） 決議事項：第1号議案 専決処分について（職員給与規程等の改正について） 第2号議案 統合顧客データベースシステムの開発中止について 第3号議案 万葉荘経営事業会計の施設整備積立金の取り崩しについて 報告事項：報告事項1 平成24年度事業実施状況について 報告事項2 平成24年度収支の見込について 報告事項3 平成25年度の重点的な取り組みについて 報告事項4 内部統制システムの取り組みについて 報告事項5 万葉荘について</p>
<p>第4回 定時理事会</p>	<p>日 時：平成25年3月6日（出席理事6名 出席監事2名） 決議事項：第1号議案 平成25年度事業計画（案）について 第2号議案 平成25年度収支予算（案）について 第3号議案 平成25年度長期借入金借入限度額（案）について 第4号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター諸規程の改正（案）について 第5号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター収益事業の内容変更（案）について 第6号事案 公益財団法人神奈川産業振興センター定款の変更（案）について 第7号議案 評議員会の日時、場所、目的である事項等（案）について 報告事項：報告事項1 統合顧客データベースシステムの開発中止に関する報告について 報告事項2 万葉荘について</p>
<p>第5回 臨時理事会</p>	<p>日 時：平成25年3月21日（出席理事4名 出席監事2名） 決議事項：第1号議案 業務執行理事（専務理事）の選任（案）</p>
<p>第6回 臨時理事会</p>	<p>日 時：平成25年3月28日（決議の省略による） 決議事項：第1号議案 評議員会の日時、場所、目的である事項等の件</p>

2 評議員会開催状況

	内 容
第1回 定時評議員会	<p>日 時：平成24年6月22日（出席評議員10名）</p> <p>決議事項：第1号議案 平成23年度(平成23年6月1日～平成24年3月31日)事業報告書（案）</p> <p>第2号議案 平成23年度(平成23年6月1日～平成24年3月31日)決算諸表（案）</p> <p>第3号議案 中期経営計画（案）</p> <p>第4号議案 役員の報酬（案）</p> <p>第5号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター評議員の選任（案）</p> <p>第6号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター理事の選任（案）</p> <p>報告事項：報告事項1 万葉荘の今後の運営方針</p> <p>報告事項2 内部統制システム構築の取組</p>
第1回 臨時評議員会	<p>日 時：平成24年8月1日（決議の省略による）</p> <p>決議事項：第1号議案 評議員選任の件</p>
第2回 定時評議員会	<p>日 時：平成25年3月21日（出席評議員12名）</p> <p>決議事項：第1号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター定款の変更（案）について</p> <p>第2号議案 平成25年度事業計画（案）について</p> <p>第3号議案 平成25年度収支予算（案）について</p> <p>第4号議案 平成25年度長期借入金借入限度額(案)について</p> <p>第5号議案 公益財団法人神奈川産業振興センター理事の選任（案）について</p> <p>第6号議案 役員の報酬（案）について</p> <p>報告事項：報告事項1 平成24年度事業実施状況について</p> <p>報告事項2 統合顧客データベースシステムの開発中止に関する報告について</p> <p>報告事項3 万葉荘について</p>
第2回 臨時評議員会	<p>日 時：平成25年3月28日（決議の省略による）</p> <p>決議事項：第1号議案 評議員選任の件</p>

3 監事監査実施状況

	内 容
監事監査	日 時：平成 24 年 5 月 25 日 （出席監事 2 名） 監査内容：①会計監査人による会計監査報告 ②事業報告及び計算書類の監査

4 役員

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

	氏名	所属団体名
会長 (代表理事)	神谷 光 信	公益財団法人神奈川産業振興センター
理事長 (代表理事)	小林 賢	公益財団法人神奈川産業振興センター
専務理事 (業務執行理事)	小林 崇	公益財団法人神奈川産業振興センター
理事	高木 紀世子	公益財団法人神奈川産業振興センター-KIP 会副代表
理事	福島 洋 一	株式会社芝技研代表取締役
理事	木下 眞佐子	社会福祉法人みわの会理事長
監事	伊藤 仁	元 株式会社産業貿易センター常勤監査役
監事	軒澤 力	公認会計士

5 評議員

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

	氏名	所属団体名
評議員	森 洋	神奈川県中小企業団体中央会会長
評議員	関戸 昌 邦	神奈川県商工会連合会会長
評議員	河本 洋 次	社団法人神奈川県商工会議所連合会副会頭
評議員	松藤 静 明	神奈川県信用保証協会会長
評議員	岡野 誠 一	公益社団法人商連かながわ会長
評議員	中島 信 明	社団法人神奈川県工業協会会長
評議員	椎野 武	神奈川県信用組合協会会長
評議員	斎藤 寿 臣	神奈川県信用金庫協会会長
評議員	青井 俊 夫	社団法人横浜銀行協会専務理事
評議員	関口 朝 弘	日本政策金融公庫横浜支店長兼中小企業事業事業統括
評議員	青木 勇	株式会社商工組合中央金庫横浜支店長
評議員	田中 則 仁	神奈川大学経営学部国際経営学科教授
評議員	高橋 保 一	公益財団法人神奈川産業振興センター-KIP 会副代表
評議員	山本 組 雄	公益財団法人神奈川産業振興センター-KIP 会副代表
評議員	簗原 利 憲	公益財団法人神奈川産業振興センター-KIP 会副代表
評議員	大塚 康 男	神奈川県産業技術センター所長